十二日夕刊 大正四年十月十三日 THE KEIJO NIPPO 第二千九百十號（一）（明治四十年九月八日第三種郵便物認可）

京城日報

朝刊と合せて二十頁

發行所 京城日報社 [illegible]

列強大戰

▲日本援兵論起る
近東の危急と英紙

ベルメルガゼット紙の主筆ガーヴキン氏は近東の形勢の危急を説き近東に於ける英國の運命が危からんとするも尚ほ此の際近東に日本人の援助を受くるは我外交上不可能なるや此際近東に日本軍二十五萬を加ふるを得んには後に於て大軍を援助さるゝよりも有利なる可し聯合軍は此の目的の爲め有ゆる手段と犧牲とを惜む可きにあらずと（倫敦電報）

▲ベ市攻陷公報

獨逸公報に曰く、マッケンゼン元帥の下に新に組織せる獨墺軍の主力はサーブ、多惱河を渉り一獨軍はチグネル島及びベルグラード南西の丘陵を占領せる後ベルグラード市の大部分は占領せり墺軍は同市の城塞及び北部に強襲し獨軍はニューコナック王城を強襲せり他の獨墺軍はセメンドリアにて四箇處より多惱河を渉り塞軍を南方に驅逐し居れり（紐育電報）

▲決死的の戰鬪

露都公報に曰く、ドウインスク附近の決死的戰鬪に於て露軍は更に數百の捕虜を得たるが同地方の村落は兩軍の間に取りつ取られつゝあり（倫敦電報）

▲英太子暗殺 無稽

英國皇太子殿下の暗殺せられたりとの報は明かに無責任なる方面より流布されたる無稽なる風説にして確實なる報道に據れば皇太子殿下には右事件發生せりと云はるゝ當日ウキンザエキマ殿に歸省靜養中なりしと（紐育電報）

◎カランザ政府公認

華盛頓來報に曰く、紐育に於て開催せられたる汎米會議は一人の異議無く墨國カランザ政府を公認するに決定したりと發表せらる（倫敦電報）

◎十月上旬貿易

十月上旬の對外貿易は輸出二千二百萬三千圓輸入は一千一萬五千圓にて差引一千一百九十八萬八千圓輸出超過を示せり一月以降の累計に於て九千六百四十三萬六千圓の出超を示せり之を前旬に比すれば輸出に於て生糸、綿糸、茶、製陶の重要品約一割五分に減少し輸入に於て綿花、羊毛、油糟、砂糖に於て約三割八分の減少を見たる次第也（東京特電）

◎四飛機青森着

十一日夜盛岡に宿營せる四飛行機は十二日午前六時三十分青森に向け出發せり▲森岡を出發したる飛行機は十二日午前八時十分孰れも無事青森に着陸せり▲追つて同地は目下降雨中に付飛行を見合せ居れり（陸軍省公報東京特電）

◎朝鮮關係勅令

十二日官報を以て左の勅令公布せられたり（東京特電）

一、朝鮮總督府高等土地調査委員會官制中改正の件

◎土岐高知縣知事

土岐高知縣知事十二日午前九時釜山著同十時三十分發汽車にて馬山へ向ふ氏は馬山、統營方面の同縣人漁場を視察したる上十四日頃京城へ向ふ可し（釜山特電）

◎クロニクル社長

クロニクル社長ヤング氏は十二日午前十時三十分著列車にて京城へ向へり（釜山特電）

〔東京發別電〕

◎間島問題と支那

間島問題に就き支那政府より臨時辦法に關する書類を日本政府に送附する筈にて之が準備打合の爲め彼我官憲の往復昨今頻々たり

◎吉林邦人立退

吉林に於ける形勢益々不穩にして在留邦人の立退き引續き行はれ危險の度一層加はれり

◎石井男と親任式

歸朝せる石井男は十三日朝西下中の大隈首相を訪問し歸朝の挨拶並に外相就任に關する打合せをなし十四日午前四時歸京參內の筈にして同日午前中外務大臣の親任式行はるべし

◎塞軍南方に追はる

塞國首府ベルグラードを攻略せる獨墺軍は塞軍を南方に壓迫しつゝあり巴爾幹の戰局は獨墺軍優勢を示せりとの報あり

◎日露同盟鼓吹

露國下院議員デニソフ氏來朝し頻りに日露同盟を鼓吹しつゝあり

◎佛國公債一部引受乎

日本駐劄の佛國大使は佛國公債一部應募方に付武富藏相と三島日銀總裁とに內交渉を遂げ目下澁澤男の歸京を待ちつゝあるが條件次第に依り右公債を帝國政府に於て引受く可く償還期限は五箇年なりと

◎試驗統一案內容

政府の試驗統一案の內容は資格試驗にて判檢事文官高等及び外交官試驗を同一試驗とし採用試驗に特別試驗を課す可しと

◎日銀正貨補充

日本銀行にては海外流出正貨補充の爲取寄せたる金塊哈爾賓印度濠洲より到著し直ちに貨幣の鑄造に著手せり

◎生糸暴騰

橫濱に於ける生糸市況頗る活況を呈し八百圓臺より一躍一千十圓臺に暴騰せり

雜報

◎褒賞授與
十七日勤政殿にて

始政五年記念朝鮮物產共進會出品物に對する審査は既に終了し受賞者人員並に其等級の如きも全く確定したるを以て褒賞授與式は豫定の如く愈々十七日午前十時より共進會場內勤政殿に於て擧行に決せり、當日の式次左の如し

一、出品人、來賓一同午前十時參列
一、奏樂（君が代）
一、石塚事務委員長開會を告ぐ
一、山縣審査長褒賞並に功勞賞の授與を申請す
一、寺內總督式辭
一、寺內總督褒賞を授與す
一、寺內總督功勞賞授與
此功勞者は共進會とは直接の關係なく朝鮮貿易界に於ける功勞者にして內地の[illegible]者に相當するものなり
一、道長官總代檜垣長官祝辭
一、授賞者總代答辭
一、石塚事務委員長式の終了を告ぐ
一、奏樂
一、參列員退場

審査の結果は秘密にして褒賞授與式當日ならでは發表せず、但し共進會より發送せる當日の案內狀受理は必ずしも受賞者ならず、從つて案內狀の送附を受けざるものと雖も必ずしも落選者ならざれば誤解なき樣注意す可し

◎金融大會日程

十三、十四兩日開催の朝鮮金融業者大會の日程左の如し

十月十三日（第一日）
於朝鮮ホテル、午前十時開會
一、京城銀行集會所委員長挨拶
二、座長選擧
三、寺內總督祝辭
四、荒井度支部長官演說
五、會議
六、閉會後記念撮影 於明月館
正午京城組合銀行招待 於明月館
午後二時昌德宮內秘苑拜觀
午後七時晩餐會 於朝鮮ホテル

十月十四日（第二日）
午前十時ゟ懇話會 於朝鮮ホテル（朝鮮及び各地財界に關する意見交換）
正午京城協贊會招待 於景福宮內慶會樓
午後 共進會觀覽
午後四時朝鮮ホテル構內石鼓壇に於て鮮銀東拓の招待會園遊會

◎慈惠院長會同

道慈惠醫院長會議は十二日より十四日まで三日間總督府第二會議室に開催時間は毎日午前九時より正午までにて十二日は諮問事項の答申あり、十三日は諮問及び院長提出意見、十四日は總督訓示、指示事項及び打合ある可し

◎定例長官會議

十二日は定例長官會議當日なるを以て午前十時より總督府第一會議室に開催、寺內總督、山縣政務總監、各部長官、局長、立花警務總長等參列し通常政務に就き打合せの上正午散會せり

◎卅五聯隊攻防演習

平壤に於て施行せらる可き第九師團步兵第卅五聯隊攻防演習は十三日より始さる可く軍司令部よりは井口軍司令官に代り古海軍參謀長觀戰す可し

◎畜產組合協議會

京畿道にては十九日午前九時より管內畜產組合の代表者を會合せしめ宣化堂に於て協議會を開會畜產獎勵上に關する打合を爲し席上道長官の訓示あるべしと

◎後藤男一行

去る十日奉天に於て開催したる南滿醫學堂第一回卒業式及び新築落成式に臨場したる後藤男一行は十三日朝大連出發安奉線に乘換へ南行の由なれば十四日午後七時半南大門著列車にて再び入京の豫定也と

◎野田副總裁輕快

過日來黃疸病の爲め引籠靜養中の野田東拓副總裁は其後逐日快方に向ひ既に室內を散步するに至れりと

◎渡邊局長仁川視察

十月十二日午前十時渡邊內務省地方局長下仁し水族館觀覽の後築港現狀を視察したり

◎名古屋團體日程

名古屋新聞主催の鮮滿視察團の京城に於ける日程左の如し

[illegible]

◎名士の學校參觀

入京中の細川侯爵、小松原英太郎氏、柴田家門氏は十一日午前各官公立高等普通學校、女子高等普通學校其他の普通學校を參觀し朝鮮人に對する教育狀況を視察する所ありたり

◎ストーヂ博士來鮮

亞米利加生れの日本人と謂はれつゝある有名なるストーヂ博士は今回の御大典を寿ぎし教會より聖書捧呈の爲め來朝し目下東京滯在中なるが隨從者一名同伴來る十五日釜山著來鮮すべし

◎永見氏一行入京

永見第十八銀行頭取一行四名は十二日朝入京せり

◎宮尾舜治氏入京

前拓殖局副總裁たりし宮尾舜治氏は十一日入京旭町二丁目村田金融部長邸に滯在中なり

共進會入場者

十一日（月曜日、曇雨）

▲晝間 一萬二百七十六人

內地人	二、一三三	其他の外人	一九
朝鮮人	六、六六八	會員及無料者	一、四二四
支那人	三二		

▲夜間 一千五百九十三人

內地人	五四一	其他の外人	八
朝鮮人	六六五	無料者	三六九
支那人	一〇		

合計 一萬一千八百六十九人
開場以來累計 五十二萬七千六百五十二人

◎小松原氏歡迎會

岡山縣人會主催にて十一日午後六時より小松原英太郎氏歡迎會を花月に開き同時に渡邊內務省地方局長早川鐵治兩氏を招待したるが出席者五十餘名盛會なりき尚ほ此機會に於て同縣人會長に國分三亥氏を推し同氏の承諾を得て後春秋二期に縣人會を催すことゝなれり

◎安奉線夜行寢臺設備

安奉線夜行列車（安東發午後八時、奉天發午後八時五十分）は從來寢臺の設備なかりしも本月七日より滿鐵線安東奉天間第二〇五、二〇六列車に寢臺の設備ある一等客車を連絡し距離遠近に拘らず普通賃金の外に別に寢臺料金二圓を以て需用に應ずると

人事消息

▲掛札李藏氏（土木局平壤出張所長）十二日入京山本へ
▲氏家卒顯氏（光州慈惠醫院長）同上
▲高頭萬治氏（大邱監獄醫務所長）十二日入京浦尾へ
▲三田壽喜氏（成北第一部長）十二日入京知火へ
▲福田義雄氏（[illegible]）十二日入京清光館へ
▲永濱尚介氏（大邱銀行頭取）十二日入京天眞樓へ
▲鈴木坂鐵氏（土木局技師）水道事務視察の爲め平壤及び鎭南浦に十二日出張を命ぜらる
▲山口大吉氏（[illegible]）十一日入京[illegible]
▲門田大助氏（[illegible]）同上
▲大井喜平氏（[illegible]）十二日朝入京[illegible]
▲今村[illegible]氏（[illegible]）[illegible]
[illegible]

觀覽團消息

[illegible]城趾山百三十四人▲開[illegible]十一人（十一日午後[illegible]）[illegible]

南言北語

▲貴總統も愈々八日午後參政院の總統合にて國民代表大會組織法を交附したと云ふ▲之れで確實に帝氏の胸中も分明した譯だソーレ御覽なさいと云はんか▲之れと云ふのも帝政論が大に進捗して愈う急轉直下を待つ許りだから▲而し急轉直下の時代が近づく丈け其れ丈け反對派も躍起になるだらう▲長江筋や四川からは不穩の說が傳はり自狼達が騷を蹴て居るらしい▲其れに關せず上下を擧げて日下は帝政問題に熱中して內政上一切の必要問題は政事堂の書棚の隅に束になつて投げ込まれてある相な▲此の意氣込で十一月の十日に代表者を決定し十一日に投票を行ひ月末迄に決定すると云ふから支那にも十二月頃は大典があるのだらう▲而して國號は大華國を始め元首を民意大皇帝と稱するらしい民意皇帝は大に振るつて居る▲議會を民意議會として內閣を民意內閣とし總て民意を被せて憲法をも民意憲法とすべしだ▲奉天では五十四縣から選出された帝政贊成代表員に對し上將軍は官費で上等の優遇をし何て居るが日本であつたら買收とか何とか忽ち大問題になるのだらうが民意で選出されたものだから買收にもならぬ相な▲此の手合が贊成投票をするのだから大勢は既に分明して居る筈だ▲と樂觀して居ると東京の支那留學生は大反對の決議をして今にも飛び出し相なと云つて來た▲忠南大田の組合議員選擧は十日に擧行されたが立會者の一人が模範候補に立つて居たので忽ち故障が百出した▲其處で衆議の結果投票中は前を見べからず後向きになつて居れとの事で見が付いた▲立會人が投票に背を向けて居るなんて珍妙な圖だ▲支那であつたら之れも民意だから仕方がないと云ふのだらう

□病床吟
大塊

大共進會に雷の出品なきを如何敷思ひ居りし處本日雷鳴あり

陳列になき雷の追加かな

庭前の菊に付て

菊咲くや病牀の吾れを笑ふ如

黃菊咲く花に微笑の思ひあり

南大門の廻米 [illegible]

仁川米豆取引所 [illegible]

[illegible]

簡淨疎宕なる山川人物の描寫
明快透徹なる朝鮮側面の觀察
蘇峰學人著

平福百穗、山下鈎、鶴田樸村、柳田謙吉、前川千帆（五氏畫）

兩京去留誌

本書は著者が朝鮮併合（明治四十三年九月）より今年夏に至る迄、五箇年に亙り屢々東京、京城間往來の際に成りたる文章を收輯したるものなり。著者の兩京間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈々新鮮にして、其の秀警の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨疎宕小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焰を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め諸畫伯の繪畫は皆實境に臨んで描く所に係り、咄々眞に逼るの妙あり。其他各地の風景、名流の筆蹟等悉く本書の爲に特に撮影し、若しくは著者の爲に特に揮毫せられたるものにして、凡て三十二葉の多きに上り、製版印刷倶に異曲同巧の出來榮を呈し、著者の文章と對照して興味津々たり。裝釘は總クロース上製となし、表紙に朝鮮の古甓を打出し、表題は金文字を以て唐太宗帝書の古拓本より抽出したるものを用ふ。體裁清雅高尚にして眞に几上の淸賞に堪へたり。今や節新秋に入りて燈火親むべし、請ふ幸ひに愛讀を賜へ。

記事內容一斑

◎沿道所見 新橋より京城（一…七）◎短信三片 途中歡迎の諸友▲朝鮮晴の好天氣▲今朝[illegible]南山◎朝鮮各地の視察◎秋晴一百五十里 光景の一轉化▲六甲山腹の理想郷▲楓葉尙ほ青し▲奈良一日の清遊▲京城愛吾廬より▲義戶據表聲▲北漢山に上るの記（一…三）▲石坡亭の雅會▲深秋の總督邸▲湖南線一部開通▲京元線の試乘◎一路寒風吹鬢霜 愛吾廬より啓上▲鐵路馬關より▲山陽道中▲京都より◎一年兩度の櫻花 國香入洛▲馬關直行▲連絡船中より▲釜山より京城▲一年兩度の櫻花▲總督貴重の紙屑▲雨中の大運動會▲內地化したる鎭侯▲釜山より大阪▲六甲山と茅海◎一年の好季節 母校と東山▲桃山御陵參拜▲汽車中の立讀め▲一年の好季節▲十三日夜の總督邸▲京東間の晩餐▲湖南旅行中より◎愛吾廬雜信◎訪人訪書の旅行 最上の小春日和▲仁王山[illegible]▲會第一行と邂逅▲清涼里に遊ぶ▲昌德宮の秋色▲[illegible]▲仁川沖魚釣の記▲[illegible]の大家▲明治天皇記念祭▲十一月三日の夜▲松隱山莊の招待▲小閑の記▲[illegible]▲開城に遊ぶの記▲山陽道中の紅葉▲六甲山より京都▲[illegible]氏の[illegible]▲[illegible]▲[illegible]記▲防書漫記◎避熱旅行 京城雜信（其一）▲同（其二）▲雨の一日▲[illegible]▲[illegible]人日記▲漢江の魚と人◎双京幾往還 [illegible]▲太師亭▲[illegible]▲別家[illegible]人時◎往來二千日 炎昧大暍▲比新麥の[illegible]▲宮島より京城▲[illegible]離▲早天の京城▲法よりも人へ▲閑中の苦役▲實踐實行の時▲[illegible]▲[illegible]二千日▲[illegible]◎愛吾廬記（子爵金允植記）◎雲養集を讀む（一…六）◎朝鮮統治の要義（一…十）合計十五篇 一百三章二百七十四頁

繪畫寫眞目次

◎海峽航行中の著者（三色版）◎在慶州新羅武烈大王陵碑龜趺（寫眞版）◎北漢山（ジンク版）◎洗劍亭（ジンク版）◎漢江（ジンク版）◎子爵尹德榮氏別墅碧樹山莊より南山を望む（三色版）◎愛吾廬に於ける冷淡の生活（寫眞版）◎愛吾廬より仁王山を望む（三色版）◎清涼里（木版）◎昌德宮秘苑（木版）◎山縣總監の自畫自贊（寫眞版）◎朝鮮街（木版）◎明石中將の自畫自贊（寫眞版）◎鮮人の天長節（ジンク版）京城獨立門畔城壁上の大銀杏樹（寫眞版）◎獨立門外廢寺の五輪塔と著者（寫眞版）◎諸名流筆蹟（寫眞版）◎鮮人の家屋（寫眞版）◎鮮婦浣紗（ジンク版）◎太華亭（ジンク版）◎愛吾廬同人庭前の小集（寫眞版）◎麻浦（ジンク版）◎野田大塊翁の自畫自贊（寫眞版）◎鮮人の船（寫眞版）◎子爵金允植氏の德富氏送序の筆蹟（寫眞版）◎故伊藤公自筆南山腳下の詩（寫眞版）◎朝鮮總督官邸に於ける寺內伯（寫眞版）◎寺內伯書故伊藤公南山腳下の詩及び跋語（寫眞版）◎寺內伯書和歌（寫眞版）◎寺內伯書鴨綠江鐵橋落成の詩（寫眞版）◎寺內伯書早發の詩（寫眞版）◎寺內伯書慶州懷古及び乙卯誕辰の詩（寫眞版）合計三十二種

總クロース上製函入 定價金壹圓五拾錢（郵稅本社負擔）

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

大共進會

婦人には持てないが土人には持てる顏＝早川頑鐵氏談

自稱殖民地向きの顏＝早川鐵治氏

『我輩は七歳の時から外國宣教師に英語を習つて十四の時に移住する積りで北海道に行き學校を出るとすぐに外交官になつて阿米利加に行き支那にも行き其れから彼方此方旅稼ぎをした經驗からコスモポリタンだ』と紫紋羽二重の大坐布團にと頑然とドツカリ大胡坐を搔いた早川鐵治氏は頻りに愛嬌のある顏付をし乍ら東西南北縱横論をやる『私は支那にゐた時は六人擔ぎの紫の天蓋のある輿に乘つてエーシヨツとか何とか先拂ひをさせ乍ら行列を練らして大道を濶歩させたものだ若くはあつたし此顏で此體ではね』と六尺の巨體を搖り乍ら大笑する『一體殖民地では元よりだが一般に未開人、野蠻人に對しては『總て偉大に誇張した形式』の必要があるんだ人格を解し得ないものには腦力で行くんだ彼等には腦力が總ての力なのだ夫れを具體的に表現するものが形式なのだ殖民地に於ける軍事的政治の必要な所以で或る彼の英國は世界に於ける模範的立憲君主國として知られてゐる事今更言ふ迄もなく國内に於ては完全に夫れが行はれてゐるけれども其殖民地に對しての政策は總て此ミリタリー、ガヴアーメントを以て臨んでる、印度にしても加奈陀にしても濠洲、埃及總て然りだ悉く英國の殖民政策は世界の範となつてゐる此の故に『我輩は日本に於ても武官總督』を賛する者である殖民政策爲政者たる者は此大なる國民性の趨勢を知悉してゐなければならぬ世間論ずるが如く文官總督でもやつて腰の弱い文官總督が政府困らせの議案でも持つて歸つて其れに議員連が雷同して騒ぎ出されでもしやうものなら大事だ我輩飽迄も武官總督のミリタリー、ガヴアーメントをよしとする鳥渡話が飛ぶが面白い話がある内田嘉吉さんが頻りに來い〳〵云ふので臺灣見物に出掛けた時だ『此團體と此の顏には流石』の土人も參つたと見えて頻りにピヨコ〳〵御辭儀をしたものだねハツハ、、婦人には持てないけれど土人には持てるよ此處だ堂々たる行列や威儀しい服裝などは元より巨大な體躯や特兆のある顏が大に殖民地向なのだ我輩など殖民地には持つて來いだが寺内總督なども大に理想的だと思ふハツハツハ、、。

高空から無料入場券
三重號の共進會訪問飛行の快擧

尾崎行輝氏の共進會訪問飛行は天候不良のため兩三日見合せ居りしが近日中好晴の日を期して大飛行を行なひ共進會上の空間より數千枚の紙片を撒布する筈なるがその中に共進會無料入場券五百枚を混入しある由

一月で入場者五十萬
最初の豫定は五十日間で五十萬人

共進會の入場者に就ては既報の如く最初開會前にありては五十日間の入場者三十萬と云ふものと五十萬と云ふものとの兩説ありたるが共後開會の結果入場者以外に多く▲一日平均一萬七千餘人に達し居り九月十一日開會當日より十月一日迄の一箇月間に於て五十二萬七千六百五十二人の入場者を見るに至りたり右は全く共進會の設備整ひたると協贊會の觀覽誘導に勵めたるとの結果に外ならざれども亦以て新聞通信社の如き有力なる應援機關ありて極力細大の出來事を報道したる結果に外ならず▲餘す處後二十日間となれり此期間として前日に勝る成功を爲し得ば記念共進會も眞に有終の美を收め得たりと云ふを得可く從來の例に徴し五十日間を通じて七十萬人の觀覽者を集め得るも左まで難事にあらざるべしと某理事は語れり

『サロメ』は十四日限りで
後は羽衣舞踊

共進會演藝館に出演中の天勝の奇術應用のサロメは頗る好評で十一日の夜も雨天に拘らず大入滿員の盛況であつた此の大評判のサロメは十四日限りで演了し十五日から更らに天勝及び一行の最も得意とする種々の光線を利用した羽衣ダンス並びに喜劇を出し飛切り美しいところを御覽に入れるといふ天勝のサロメは是非一度觀て從くべきものである

選手參加資格
共進會の山野横斷大競走會

京城協贊會主催の山野横斷大競走は二十日舉行の筈にて當日此選擧に參加する者は二十才より四十才迄の者とし來る十五日迄協贊會宛申込むべしと協贊會にては先發及び到着迄に於て協贊會員及び新聞通信者立會の上勝敗を決す可く同時に先著者の時間投票をも行ふ計畫ありと

婦人子供デー
一週間延期さる

京城協贊會は十六日頃『婦人子供デー』開會の豫定なりしも共休憩所に充つ可き慶會樓は褒賞授與式のため準備中にて使用出來ず其ため多分來る廿三日を以て『婦人子供デー』と爲す豫定にて當日は天勝一座も婦人子供向の演藝を出すべしと

賣店の大賣出し

協贊會内の各賣店は十七日の褒賞授與式當日聯合大賣出しを爲し景品として大福引を行ふ筈なるが協贊會よりは金品合せて約二百圓を寄贈すべしと

脛一本で一日五圓の收入
今頃の京城の車夫

共進會の開催中京城で大當りの商賣は種々ある中にも一流の大旅館第一種の料理屋其れに俥屋とであらう京城の俥は總計約一千三百臺ある輓子は其れ以上の數である然るに共進會といふ大仕掛の催しは鮮内は勿論内地滿洲其の他の地方から多數の觀客を悉く京城に吸收するので一度南大門驛に渡れた身體を列車から投り出された人は必ず俥屋に曳かれて行く大旅館で伸張場を約束して拋車夫を平常の約十倍も殖やしてゐるの大盛況である京城に十餘年も住んでゐる某帳場さんの談に依ば京城で俥屋が昨今の如に繁忙過激なことは未だ其例が無い以前今上陛下の東宮にまします時分に御入京相成つた際も隨分俥屋の方では多忙であつたが其頃は今から見れば靜かなものである然るに這般閑院宮殿下の御入京前後から昨今迄息もつけない樣な多忙さは全く空前の盛況です谷帳場では内勤事務をやつてゐる人數を殖やし一人は殆ど專門に電話に係つてゐる程であるといふ鬼子の方でも有ゆる馬力を掛けて玆を先途の

▲働き目醒しく　晝に夜業僨のみで一日に二圓以上を揚げてゐる程の大活動である併も休憩餘裕の時間が更になくノベツの走り通しであるから疲勞することも夥しい相である平常であつたら「オイ俥屋」と呼乘てにされてゐる車夫も共進會の賜物で「俥屋さん一つやつて呉れ」と依賴を受けるやうな有樣で大繁昌俥屋萬歳の盛況である大抵の車夫が一晝夜に四圓乃至五圓の收入である相な

▲鮮人の營業帳場の方でも平常の二三倍の收入は慥であるといふ殊に雨の日には每度車が不足し滿足の要求に應じ兼ねた事もあつた樣な次第で從令賃金の割増はあつても共進會期間中は降雨日は車の不足を訴へる事が多い併し營業の方でも所定の賃金があるから法外の賃錢は貪る事は出來ないから乘客の方でも安心して乘れる譯である最も忙しいのが朝と夕方であるといふ此は出勤とか訪問とか退廳とか或は汽車發著の時間等も關係することが多い鬼子の方でも此際營養不良に陷らぬ樣身體の强壯を期して滋養供給に努め充分活動する意氣込であるといふ

北濱事件被告
一切保釋せらる

小塚庄一郎五百圓、永田要太郎三百圓を納め岩下と共に保釋を許されたり之れにて北濱事件被告は一切保釋されたるわけにて豫審終結近からんと（大阪特電）

少年洋畫家
十七歳で文展に合格す

今回文展に合格したる洋畫家中大阪の藤田正雄當年十七歳の少年なりと（大阪特電）

破天荒の大趣向あり
△明日の朝刊を見落す勿れ
△家庭博にて明日より擧行します

岩下假出獄

北濱銀行事件にて收監中なりし岩下清周氏は十一日保釋金五百圓にて假出獄を許され西の宮の自邸に入れり（大阪特電）

福岡丸の坐礁

日本郵船福岡丸（千八百噸）は香川縣仲多度郡與島沖にて坐礁せり（大阪特電）

指一本で現に見える人相
日本一の性相學者石龍子氏來る

日本一の性相學者石龍子氏は十一日夜共進會見物に入京した氏は久留米の産

觀相家石龍子氏

▲五代目の石家を繼いだ人であるが何分本名の石龍子が妙な名前であるから所から到る處雅號と間違へられて飛んだ滑稽談がもちあがるとの事だ、初代は關東卅六箇國の總奉行吉村多聞と三年間も爭うて勝ち遂に天下一家の觀相家となつたとの事、氏は五代目の養子として和漢洋のあらゆる書籍を涉獵し遂に今日の大家となつた人であるが始め日本支那の觀相學を研究し更に西歐のフレノロジーを闡明するに至つて

▲兩者悉相一致し叉斯學と生理、人類學が相合致する點を發見したと言ふ、叉氏の談片を紹介すると人間の心と形とは相一致したもので心の通りに顏形があり、顏形の通りに心がある、其れで人は見かけによらぬ者といふが性相學の方から言へば天下の人悉く見かけによるものであるといふ、氏があの獰猛な

▲尼殺しの犯人　大米龍雲を見た時も其の顏面の歪みにより彼が少年時代に高所から墜落した事を指摘し其他各種の犯罪性行等を言ひ中てたところ有繁の龍雲も驚ひあがつたといふ談だ『私共は人間の指一本視ても其の全身及び容貌が想像されるし叉むかしの人間の頭蓋骨を視ても其の人の性情等が分ります』と、其他頭部顏面各部の形狀により其の人の性情を歷然と指摘する實驗證明も一々肯綮に中り殊に其の

▲宿命論の如きは頗る面白いものであつた、因に氏は月末まで滯留一人二圓宛の謝禮で依頼に應ずる由なるが又本社家庭博内にも出張し家庭博入場者には一圓五十錢で觀相を試むる筈

家庭博覽會

小供の喜び
今日は落語家圓坊と若橘が來る
家庭博に於ける久留島先生のお伽講演

家庭博の十二日は前夜の秋雨名殘りなく晴れて滿々しい上天氣に袷の裾捌きも輕く朝の十時頃から婦人連れの入場者相接ぎ午後となれば久留島先生のお伽講演があつたので鍾路、櫻井其他の小學生徒が午後の二時頃から來場したので此日の午後は恰も小供デーの如くに小學生で身動きもならぬ賑ひ、久留島先生のお噺は『一與の角力火鉢』と云ふ題で先生の流暢な輕い口調で話されるのであるから小學生諸君の喜びは大したもの面白くなると我れを忘れて喝采する斯くて盛況の裡にお伽講演を終つた、今夜は午後六時半から浪花館に出演中の桂小南の客員となつて居る、例の暢氣な圓坊と歌六が出る筈であつたが歌六は出演時間に差し閊へると云ふので今晩は御免を蒙り圓坊の落語と滑稽手踊の上手若橘が來て家庭博後門のカチカチ山の上の舞臺でお臍の皮を捩らせたり顎の丁番を脫ずさうだから夜分はなるべく早く入場せられたい

飛行機機體觀覽

▲本月十七日迄每日飛行時間合に龍山練兵場格納庫内に於て觀覽に供し係員より說明す
▲觀覽料一人五錢小兒及制服軍人學生參錢三十人以上は半減
京城協贊會

家庭博の賣店の賑ひ
土產物の數々

婦人子供の觀覽者の多い家庭博覽會の賣店には矢張共向き種類のものが多く二十餘軒もある内大抵は婦人小供をお顧客とする品物が多い

▲婦人向きの賣店にはクラブにレートの化粧品は先づ以つて見逃がす事の出來ぬもの、それから評判の家庭菓子製法傳授、大根や蓮根の原料でお菓子が出來る種類は四十八あるが十分間で敎はる事が出來る德壽宮女官家庭博の觀覽

る、其れから野菜類調理器とて野菜を自由に調理する機械も却々の賣行き子供衆には食物では森永のキャラメルに袋入りの御菓子

▲代理部で販賣の桃太郎やカチカチ山金太郎の繪本其他色々の御伽噺の本が坊ちやん孃ちやん方に大評判其れから篠崎の文房具、玩具は東京の中村から隨分奇抜なものを出品して即賣して居る、單線自動車など云ふ新らしいものも出て居る其他土產物では滿市の鶴の箸、高麗燒、ステツキに九谷燒、九谷燒は限つて二割引と云ふ大勉強第一號館の金物店は切れ味がよいと云ふので地方の人に歡迎せられて居る、老人には自動按摩器、之れも場内では二割引、後庭の珈琲、汁粉、果物店は特に勉强して居る

新學期　女子大學通信教育會編　家政講義
○學科○修身教育心理法制經濟衛生家事作法料理裁縫生花園藝其他○入會金免除○會則見本無代進呈
東京小石川目白臺　女子大學通信教育會
京城明治町　精美堂出版部

放賣　土地建物　田畓鑛山　大募集　申込無料
▼賣買多數成立
京城太平通二丁目七十八番地　多田不動産信託所　電話二二一番

京染　たまや支店

滿洲へ往く人のみやげは大連で
支那の翡翠、硯、書畫、骨董に限る
大連の方外軒は之を販賣し正札にて賣り方外軒は北支那第一の支那專門骨董店にて新時代ぶりの正直確實と云ふ定評を受け居れり

かぜねつに罹れる時はハカリ印のヘブリン丸を用ゐて全快せらるべし
●各地藥店にあり

共進會最上土產品　滋養大御　乃木餅　茶菓子代用
賣出期限（十月十日より卅一日まで）
乃木餅屋

大日本優良清酒等　ハックル
品質純良　衛生無害

釀造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町四丁目十四番戶　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢四厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町電話四二〇番、五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山旭橋町　電話二八番
諸預金貸付爲替等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

商況

債券　物特電

大阪株式特電

大阪三品特電

下期米特電

下關特電

天氣　西の風晴　十月十三日

乃木大將の幼年時代

家庭博に於ける久留島氏のお伽講演

十日午後四時家庭博のお伽講演で話された久留島武彦先生のお噺は洵に結構な御講演でありました

『栴檀は二葉より香ばし』と云ふ古語があるが植物學者の話に依ると栴檀と云ふ樹は決して二葉より香を持つて居るものではない、その樹が大きくなるに從つて香りが次第に強くなるのである、昔は偉い人は子供の内から偉らかつた樣に傳へられて居るが、今日の人は小さい時から賢くなくてもよいのだ、譬ば彼の乃木將軍の如き、武威赫々、今日では神と崇められる程の人でも幼い時には比類のない弱蟲であつたのだ、恐らく將軍の子供の時程

▲能く泣いた泣蟲 は無つたであらう朝からお晝まで泣いてお晝から晩まで又泣くと云ふ弱蟲の憶病な子供でありました、育つに從つて段々弱蟲となり、又大の寒むがりで、背中を丸くして常時も火鉢の傍に蟄つて居た七つの時に手習ひに行く途中雪が降ると云つては泣き十歳になつても戰爭ごつこなど活潑な遊びは大の嫌いであつた、乃木將軍の弟さんに眞心と云ふ方があつた此人も幼い時には兄に似て大の弱虫で近所の小供等が戰爭ゴッコをして遊ぶ時には

▲常時逃げて家の 中に蔭れて居たものだ、其處で近所の子供等は將軍の幼名を無人と云つたものだから泣人と呼び替えて『乃木兄弟眞心に泣人』と大きな聲で怒鳴つて歩いたものだ此の弱蟲の泣蟲が何うして後には難功不落と稱せられた旅順を陷落せしめた大將軍となつたであらうか、當時の乃木家の住宅は見る蔭もない陋屋であつた冬の寒い風は玄關から座敷まで吹き放しであつた、併し刀と鎧丈は實に立派なものが飾られてあつた、無人さんの嚴父は

▲恐ろしい早起き の人であつた、無人さんは朝起きると直ぐ裏手の井戸傍に行つて顏を洗ふのが例となつて居た、井戸の上には土塀が跨つて居て隣の毛利家でも使ふ事の出來る樣になつて居た、或冬の朝無人さんが其井戸に顏を洗ひに行くと霜が降つて居て眞白くなつて居る

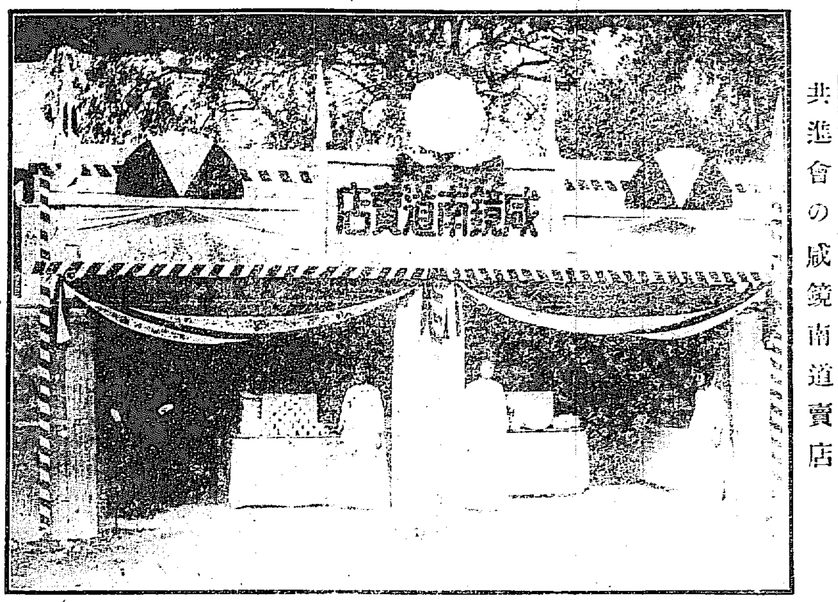
弱蟲の無人さんは尻込みをして水を汲うとも爲ない、時しも嚴父の聲で坐敷から無人さんを呼ぶのが聞える、無人さんは叱かられては堪らぬと顏もソコ／＼に洗つて坐敷に出て恐る／＼嚴父の前に跪まつた、無人さんの嚴父は一言も小言をお仰らない、今から外に出るから袴を著けろと云はれる、無人さんは支度をして冬の寒い朝の六時こいふに嚴父に連れられて家を出た、お父さんは馬鹿に威勢のよい人で寒い時でも肩で風を切つて歩く人であつた、併し弱蟲の無人さんは

▲其麼元氣は露程 もない身を切る樣な寒い風の吹く海邊に沿た道を行く事十二三町、或るお寺の山門に著いた、山門を入つて眞直ぐに行けば本堂に行くのだが嚴父は左の方に足を運ばれて欅と杉の木の下にあるアノお墓に詣るのだとお仰る、無人さんはこゝが泉岳寺である事を知らない、墓まで行く途中に井戸がある、水深が淺い爲め井水は凍つて居る、無人さんは其麼所で手を洗はなくてもよいと思つて居るのに嚴父はこゝで手を淸めて行うと御仰せになる、此の井戸こそは吉良殿のみ首を洗ふた＝有名な首洗の井戸である＝頃は元祿十五年の昔、今日は恰も師走の十五日だ、四十七義士が吉良邸に亂入し目出度く

▲吉良殿の御首を 頂戴した日である、此首級の爲めに義士は親に別れ、子に別れ、艱難辛苦の限りを盡くしたのだ、——嚴父と無人さんとは此井戸で手を淸めて四十七義士のお墓に參詣した、第一番にあるのが大石義雄の墓だ二番目にあるのが主税さんの墓だ、主税は其時十五であつた、お前は此歳十一だから、モー四年の後に主税さんの如くな働きが出來るかと嚴父は無人さんに問はれた無人さんには無論其等の出來さうな筈はない

▲今度は四番目の 墓を出されて、アノ字は何んと讀む『間』す』『違う『間』イヤあれは間と讀むのだ、其次は誰だ『武林』次は倉橋十番目が小野寺、此十人の義士はお前が毎日顏を洗ふ自家の井戸で顏を洗はれたのだ、アノ井戸は半分は毛利家で使ふて居るだろう、元祿の昔此十義士は毛利家にお預けとなつて居た其當時十義士は毎朝アノ井戸で顏を洗はれたのである、お前は之れから顏を洗ふ時には自分の顏を洗ふと思はず義士の顏を洗ふと思へ、霜で白くなつた竿は義心の籠つた槍だと思へ、重い釣瓶は吉良殿の御首だと思つて引き揚げよ、今日は義士の面々で明朝からは貴公方のお顏を洗はして戴くと能く御辭儀をして行くのだ、俺れも一緒に御願ひをすると嚴父は墓前に跪いて『倅が明朝から貴公方の御顏を洗はして戴きますから何卒宜ろしく御願ひ申す』と生ける人に物言ふ如く敬しく禮をして踊られた無人さんは

▲其翌朝から井戸 に出て顏を洗ふ時には泉岳寺の義士の墓前で敎はつた父の敎訓を想ひ出したが冬の朝の井戸邊は依然寒い、無人さんは冷めたい義士の槍だなど云ひながら竿を攫り、重たい吉良殿のお首だなと云つては釣瓶を揚げ、之れが間さんの顏だ、お次ぎが武林さんお次ぎが誰れだと十人分十遍も冷水で顏を洗ふとモー顏から蒸氣が立つ程溫くなつた、序でに自分の分もだと逆に幾度も幾度も顏を洗ふたコーなると元氣が出來て來る、座敷に居られた嚴父がお呼びになると無人さんは思ず『ハーイ』と大きな聲の返事が出た、無人さんは斯の如うにしてその嚴父から敎育されて遂に『今までは勝れし人と思ひしに人と生れし神にぞありける』とまで敬はれる程の人となつた、少年諸君は今日より明日と少し宛勵めて弱まなければ偉い人となる事が出來るのである



共進會の咸鏡南道賣店

◉大田議員選擧

十日午前十時より大田學校組合事務所に於て執行されたる大田學校組合會議員の總選擧は意外に激烈なる大混戰なりしが午後四時終了し開票の結果左の諸氏當選せり而して有權者總數三百八十八にして内棄權數百卅九票なりし

三十票 大内仁見
二十六票 須々木權次郎
二十三票 末吉定十
二十三票 荒瀬長十
二十二票 川島勝
二十二票 佐藤惣太郎
二十一票 磯部金太郎
十七票 南部京平
十六票 内藤氏雄
十六票 秋津豐喜

◉忠北撃劍大會

忠北警務部にては管内憲兵警察官中より撃劍名士四十餘名を召集し十一日午後一時より本部前庭に撃劍大會を開き警務會議の爲來清中の各分隊分遣所警察署長を始め官民多數の參觀あり頗る盛會を極めたり

◉連絡船上陸客

十一日午前入港新羅丸一二等乘客（一等二十一名）丸山熊男、同健男、藤瀬示一郎、臨川徳次郎、岡本清、川合傳一、孫口清、城村傳吉、咲幸丸、永見寛二、山田又三郎、市田安之助、大山卓樹、弘世正三郎、大谷吟右衛門、松方巖、弘挙中郎、外人三名（二等四十名）中島定次郎、洗柴乾治、金子民三郎、富永一、齋藤源次郎、川島友三、平井長吉、高瀬定次郎、廣瀬純作、同きく、同芳太郎、同喜美江、梶村宇平、磯野小兵衛、須藤文吉、吉川龍太郎、同とよ、城井尚錦、檜枝峯吉、大谷正之助、鷲谷武、石川晉吉、同正實、川瀬元次郎、清水つる、今村長太郎、西川かと、中馬はな、同宗迢、仲花歳、野口藤三、同春、河野生長、谷口熊之助、石丸利七、同なつ、本田皎、長川宗吉、同千代、桶田力（三等二百三名）十一日午後入港壹岐丸一二等客（一等三名）川合永造、乙部益、北村玄郎（二等十六名）沼上長平、山根秀藏、同花、阪本爲忠、同靜子、同初江、佐藤長之助、松崎茂一郎、小西秋、木梨茂次郎、野村重夫、渡邊德重、加賀谷七、岡本重臧、水村福之介、中村芳三（三等九十名）

演藝案内

壽館 壽町 電話一〇五〇 ●東京落語歌舞音曲々藝 桂三木助一行 ●十月五日より晝夜二回 [illegible]

壽座 壽町 電話五七八 大阪若手俳優 市川眼笑 市川新昇一座 十月十三日替り狂言 前狂言 黒田騷動 栗山大膳 中狂言 心中天の網島 紙屋の場 切狂言 廓噺 嫗山姥 [illegible]

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七 [illegible]

龍光館 龍山停車場前 電話（龍山）四一三 十月八日より [illegible]

大正館 本町 電話八七三番 十月十三日より臨時特別大興行 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 特別大興行 東京落語大一座 桂小南一行來る [illegible]

有樂館 本町 新築落成 電話二六六 [illegible]

御成座 御成町 電話二九一 第三十回替藝題 舊劇『百合の花』 新劇『二階笠』柳生日記 全八場 全五十場 [illegible]

期米 (正)橋本猶作 電話長東 [illegible] 振替口座大阪 [illegible]

腦充血と腦貧血及其療法

腦の充血や貧血は何うして起るか——如何なる症候を呈はすか——何んな手當をすれば治るか

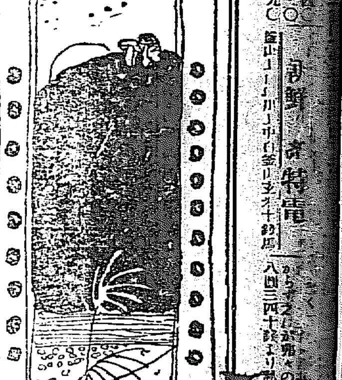
○腦充血の原因 腦充血とは俗に謂ふ逆上のことで、腦の動脈の血が充滿するに基くか、或は腦の靜脈の血の流れるのが妨げられるに因て起るもので、之に急性と慢性又動脈性と靜脈性などの區別がある、今其の原因を擧げてみると、(1)身體の過勞例へば疾く走つたり、山へ登つたり、重い荷物を擔いだりすること、(2)精神の興奮例へば憤怒など、(3)暖かい室に居ること、(4)日射病や熱病、(5)アルコールやエーテルなどの中毒、(6)冷水浴、(7)久しい間の便秘や腹部の腫瘍、(8)月經閉止、(9)慢性氣管枝カタル、肺氣腫、肋膜癒着等の如き呼吸器病や心臟病、(10)肥大、咳嗽、嘔吐、怒責、牛飲、馬食、(11)動脈硬化症、萎縮腎、頸部淋巴腺腫等である。

▲腦充血の症候 腦充血の症候は一は腦の刺戟から來るもので、一は腦の壓迫から來るもので、急性の場合には顏面が赤くなり、頸の動脈が強く脈を搏つて、深い大きな呼吸をなし、眩暈を來たし、身體の處々に疼痛や痙攣を起し、遂に卒倒して人事不省に陷るやうになる又慢性の場合には頭痛や眩暈がし、或は眠られず、或は眠りから火花が出るやうで耳が鳴り、惡心、嘔吐を催し、胸苦しく心悸亢ぶり、精神は或は過敏となり或は時には緩慢となり、精神に異常を來たし、皮膚の知覺が變り、筋肉が痲痺れたりすることがある。

▲腦貧血の原因 腦貧血は(1)負傷したり、手術を受けたりして出血したとき、或は肺臟、子宮、胃腸等から血を漏らして、其の分量の多い場合、(2)久しい間の下痢や、永く便秘して居て急に多量の排便をなしたとき、身體全體の慢性貧血、(4)脂肪心臟や熱性病が心臟の衰弱して居るとき、(5)喜悦、驚愕、恐怖憂慮等の如き精神感動が、其の原因となつて起るものである

▲腦貧血の症候 腦貧血には急性と慢性とあつて、急性の場合には顏面が蒼褪め、四肢が冷え冷汗を流し、耳は鳴つて聽え難く、視る力も弱くなり、眩暈や惡心が起り、嘔吐を催し、遂に卒倒して氣を失ふ、而して多くは暫時で醒めるけれども、甚しきは死んで了ふことがある、之を神經性卒中と稱へる、又慢性の場合には頭が重く、頭痛、眩暈、耳鳴を來たし、眼から火花が出るやうで、何も見えず、耳は聽え難くなり、胸苦しく心悸亢ぶり、或は眠られず、或は眠くて堪らず、惡心や嘔吐を催し、身體は疲勞れ、記憶は不良くなり、甚だしきは譫語を云ひ、又物事を考へることも出來ず、皮膚の知覺が變つて筋肉も痲痺れ、急に立たうとするときや圖へいつたときなどに屢々卒倒することがある。

▲以上腦病の療法 腦充血のときには前に述べた其の原因を避け、血の多い者には食物を減し、適度の運動を爲さしめ、逆上せ易い人には酒類の如き興奮性のものを禁じ、喫煙を節せしめ、身體や精神を使ひ過ぎぬやうにし、すべて精神を爽快にし身體を淸潔にする爲めミツワ石鹸を使ひ平生優良無刺戟のミツワ石鹸を使用にして其早急に起つた場合には安靜にして頭部を高く擧げ氷嚢を用ひ、腦の血を他に導く爲めに、胸部や上膊などに芥子を塗り或は熱き脚浴を施すのが宜い、而して平素ミツワ緩下錠を服んで便通を適宜しなければならぬ、それから腦充血を起し易い人は常に持藥としてミツワ人參錠を用ふるに限るのである腦貧血のときにも亦其原因となることを除き理想的の優良石鹸即ちミツワ石鹸を使つて皮膚を強くし血行を良くし氣を失つた場合には平に寢させて頭部を低く下げ顏面や胸部に冷水を注ぎ氣が付いたら葡萄酒或は濃い茶や珈琲を飲ませるのが宜い、而して常に滋養分に富んだ食物殊に鐵分を多く含むもの、即ち腹力肝油ドロップスを滋養料として食べ、腦貧血の適藥としてはミツワ人參錠を缺かさず用ふるに限るのである、一體人參は貴重な藥草で支那に於ては神農氏の昔から今日まで無比の靈藥と貴へられて居るが日本に於ても古くから靈藥として重んぜられたもので徳川時代には人參座と云ふものを設けて人參の賣買を取扱はせ又其栽培に就いても匿を下して人參の普及を圖つた然るに其後西洋の醫術が輸入されるにつれて人參は一向顧みられぬやうになつたが近來本店試驗部の學者や其他篤學な人々の研究に據れば實に偉大な効力のあることが分つた、中でもミツワ人參錠は種類多き人參中品質最も優秀なものを選び而も最近の學理に適つた方法に依り之を精製して錠劑と爲したもので人參の有效成分を殘りなく含んで居るから腦充血、腦貧血、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、減精力退等に卓絶な効能を呈はすものである、ミツワ人參錠百錠金五十錢五百錠金二圓で詳しく効能や用法を知らうといふ方には夫々に添へてある説明書に述べてある又郵券五錢を送らるれば家庭治療法といふ書物を送る之には各病の原因、病狀、療法等詳しく説明してある、元來ミツワ家庭藥は需要者本位であるから取次の口錢が少いけれども勉強する店舖では請賣して居るが若し近くに取次店が無かつたらミツワ石鹸御園白粉發賣元東京日本橋區橘町丸見屋商店へ直接注文あれ又近頃ミツワ家庭藥の需要者が非常に多くなつた爲めミツワ人參錠を始めミツワ家庭藥の各種に類似した賣藥が續々出て來たから求らるゝ際にはミツワの商標とミツワの文字に能く注意されたし

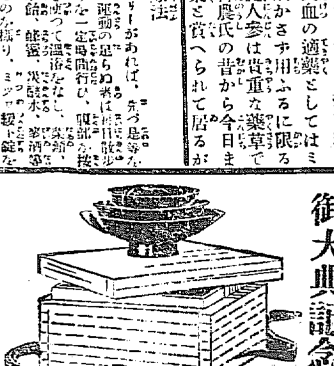

（ミツワ文庫四一〇一）

便秘の療法

神經衰弱やヒステリーがあれば、先づ是等を除くことを努め、運動の足らぬ者は散歩、乘馬、腹部の按摩などを一定時間行ひ、又ミツワ石鹸を使つて溫浴をなし、菜類、果物、馬鈴薯、水飴、蜂蜜、炭酸水、麥酒等の便通を好くするものを攝り、ミツワ緩下錠を用ふるに限る。此ミツワ緩下錠の成分中、カスカラサグラダ流動エキスは穩和な下劑で、便秘殊に貧血者の便秘には最も無比の適藥と醫家一般の定論である。センナはミツワ緩下錠に於ける主成分では、消化を進めつゝ緩下の作用を爲す精製硫黄はカスカラサグラダ流動エキスと大同小異の効能のあるもので昔から緩下劑として盛んに用ひらるゝ茴香末は健胃の効ある上に腸中の瓦斯を逐ふのである、されば總て便秘を除くには攝生に注意し、ミツワ緩下錠を服むに限るのである。ミツワ緩下錠四十錠廿錢百廿錠五十錢三百五十錠 [illegible]

緊急公告
濟生會員ニシテ寄附金一千圓以上完納シ當府管内ニ居住スル者ハ十月十四日迄ニ便宜ノ方法ニ依リ當府庶務係ニ其ノ住所職業氏名通報アリタシ
大正四年十月十二日 京城府

●生徒募集
中學校入學受驗準備科來ル十一月一日開始。授業時間自午後七時至九時
大漢門前 英漢數學義塾

御大典記念祝盃
三ツ組桐箱入
大 直徑 四寸
中 同 三寸五分
小 同 三寸
朱塗金調麒麟鳳凰金蒔繪付
右は壹千組限り實費壹圓貳十錢(送料荷造費共)にて分讓可致候間御望みの方は御申越次第引替小包にて御送附可仕候

一品質保險付一
仁川濱町(電話二四〇番)
京日仁川代理部

瀨戸皮膚科外科醫院
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀨戸潔
診察夜九時まで
(電話二四九八番)

祝 共進會紀念即賣會 共
書畫、骨董、ヒスイ、高麗燒
貴顯紳士諸彥の御土產に適當品澤山
本町二丁目裏通(電話七八四番)
株式 京城競賣會社
自午前八時至午後六時
正札附陳列 縱覽無料
進 會

京染
染料暴騰以前見越買込有爲染代値上せず從來同樣直段を以て堅牢迅速に染上候
京都市柳馬場五條北入 電話下六三三〇 福田庄兵衛商店
特約取引專業

登錄 商標
瓢水味淋
堺 嶋屋 釀
專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

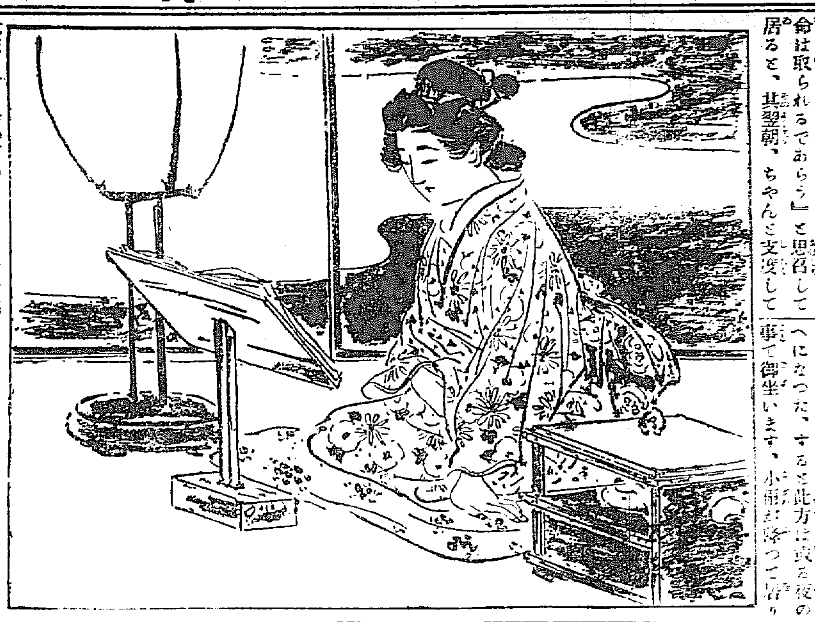
大阪期米特電 [illegible]
朝鮮米特電 [illegible]
公債直取引 [illegible]

越後大評定

第十一席　早川貞水口演

長局の夜嵐

何人も住居人のない、怪しの物が出ると云ふ、恐ろしき所の御部屋をお愛に下さつたから、毎晩築山様の方から忍びに老女が見に來る『今夜は確かに妖怪のため生命を喪たつのであらう』と思ふと、清らかなる聲を發して讀書に餘念がない、そこで引返して築山様へ此事を申し上げる、築山御前不思議に思召す『今宵は小雨もあるし、斯様な晩には必ず共に妖怪が出るもの、今夜こそは愛の生命は取られるであらう』と思召して居ると、其翌朝、ちやんと支度して平日の通り御殿へ出て來る、人々誰れも不思議に思つて『今まで彼の御局に住居をして三日と辛抱した者はないのだ、愛は平氣で居る、實に不思議だ』と云つて居る、其内に家康公が『最早お愛が御奉公に上つて、御部屋が定つたに依つて、或る夜密かに忍んで御入來あそばし　家『コリャ愛は居るか　愛『誰人様で御坐るか　家『予ぢや　愛『ハイ、予と仰られまするは……　家『家康ぢや、此處を開けよ　愛『何御用かは存じませぬが、御殿を勤むる妾の部屋、男女七歳にして席を同うせずと云ふ事あり、恐れながら御主君と雖も、奧方様の御許しがなければ、此處を開けえと仰られても、御開け申すこと能はず、御諚を背き奉るは恐れ多きことなれども、御察し下しおかれ度し　家『其方に限り苦しうない、開けえ、予が許すから開けえ　愛『有り難き仕合せに御坐いますけれども、何卒いたしても開けぬ……　家『何うして……　奧方様の御許しを……　愛『恐れながら御用あらば申す譯に參りませぬ、御用あらば明日書の内、仰付けられたく　家『是はいかぬ、今用事がある、開けぬか、さて/\……情者奴』あさ其まゝ御引取りになり、毎晩御入來になるが、なか/\開けない、家康公『ハア、予が醜男だに依つて、予の云ふことを聽かぬのか知らぬ』頻に御苦へになつた、すると此方は或る夜の事で御坐います、小雨が降つて居りまして、恰度お愛が御奉公に上つて半月を過ぎました頃ほひ、閑然として三の側の長局○『御免下され……御免下され　愛『誰人様で御坐る　○『御表御小姓青山源之丞で御坐る　愛『何御用あつて御入來で御坐る　○『只今御主君より下賜物が御坐るに依つて、此處を御開け下さい、其品御屆の役目を被りました、お愛殿、御開け下さい　愛『然らば御免』と立つてスーッと襖を開け『サア此方へ御入來下さい』髪は鳥の濡羽色の如く實に美事に取上げ、紫の振袖、紫の緞子の袴を穿き、小刀を前半に落け色白の、鼻筋徹り、兩眼清らかに、如何にも美しい所の男子、透き徹るやうに見える　○『是はお愛殿、御機嫌宜う、只今御主君下賜物と申したのは眞赤な詐り、實は私貴女の御姿を一日見るより、煩惱の犬追へども去らず、菩提の鹿招げども來らず、日々夜々貴女の事が氣に掛り、上の御用も手に落かず、何とか諦めようと存じましても、諦めること能はず、今宵は首尾を窺ひ罷り出でたれば、乃公の心中御察し下され、未だ御縁談のなき貴女なれば、乃公の意に從ひ、夫婦になり下されよ　愛『是れ/\、青山源之丞殿とも言はるゝ御方が、不義は御家の御法度位は御承知である筈、愛の事を思召し下さるならば、父左衛門佐に御話あり、其身の父君と共に御相談あそばし、表向き立派に御縁を御持ち下されよ、假令夜中とは申しながら人目に掛る其時は、不義者と申されても致方これなく、疾く御出で下され　○『是はしたり、折角首尾を窺ひ忍んだる此源之丞、お愛殿乃公の心に從ひ下され』



大割引 自動車

新羅一千年間の舊都（朝鮮慶州の奈良）に遊べ京釜線大邱驛より快走夕ツタ二時間半！更らに一時間にして迎日灣浦項港に達す

本場 ちゝぶ銘仙 新荷着
京城本町二 ちゝぶや 電話八九〇番 振替三〇二番

十月十四日九星 碧九月六日戊寅 本命一白北定友引 [illegible]

酒煙草きらひになる薬
『禁酒丸』『禁煙液』どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌ひになる郵券二錢送れば説明書文大澤博士の禁酒論進呈 其他名士
本舗 大阪市靭南通二 森田商店

種苗 目錄進呈 大阪市外天王寺村 藤田丈太郎

優等清酒 一鶴
京城本町参丁目 電話六五四番 本莊酒店

▼毛布投賣 景品附き ▲御大典用萬歳旛進呈
經濟界の不振其極度に達し停滯品の投賣續々として悲惨を極む大阪市西區四條通三丁目富屋洋行此機會に於て毛布の投賣を開始し 鼠毛布二枚續大判一組金壹圓八十錢 同二枚續特大判一組二圓七十錢 白毛布二枚續大判一組三圓七十錢の破格大安賣上毛布一組に御大典奉祝用萬歳旛一旒宛進呈す 申込方は『ハガキ』にて申込ば引換小包（送料實費）で送り買取後と雖も氣に入らぬ時は無期限引取換又は返金を請すれば地方購求者は注文するに便利なり

高貴織と大島絣
苦しまぎれの非常手段 一反僅か一圓前後で最上等品
東京淺草小島町七三柏川商店呉服部にては今回手形其他の金融の關係上思ひ切つて投げ出したる數千反の高貴織と大島絣は何れも新織最上等品なるも前述の次第にて一時に替金せん爲最新流行新織高貴織（色柄一見十圓の品に遜色なき上等品）を一反二圓五拾錢流行新大島絣（一見色柄七八圓の品と異ならぬ上等品）を一反僅か一圓四十錢と云ふ何れも天下絶無とも云ふ破天荒の馬鹿値段にて投賣を開始したるが道が値段と相談で顧客之に集注し日々大山崩す樣な大賣にて盛況を極めつゝあり因に希望の向は同店宛男女年齢別記載ハガキにて注文せば色柄見計ひ代金引換へ送料實費にて急送せらるべき筈也

▼月やく
月やくとまり他の病に用ひ効なく御心配の方東京で一番信用ある私方へ三錢切手添申込あれば害なく不思議に下る妙薬をお知らせす
東京市四谷傳馬町停留場前 森田屋

●急告
◎淋病専門藥唯一錠
急性慢性淋病及び膀胱炎しよかち等の淋毒より來る病症は淋菌を治滅すると共に安全に體内より洗滌すべき靈藥により其目的を達す現今幾多の淋病藥中胃腸障害其他の副作用を起さず此兩特効を併有する唯一錠なりは淋病専門藥なき方は速に此良薬によりて不安を去られよ 四十五錠入八十錢 九十錠入一圓五十錢 百八十錠入三圓
◎全國有名藥店にて販賣せり
淋病養生法 無代進呈 送料四錢
東京市牛込區神樂坂上 發賣元 中西薬局 振替東京一五〇〇番

見惚れる様な黒髪
甲『まあ、私惚々する見惚れましたわ、何といふ好い髪で被居るんでせう、ですけれど、然う言つちや失禮ですけど、つひ此間までも、貴嬢彼麼美しい黒髪では……』
乙『無かつたと仰有るんでせう、え、く此間までは持つて生れた赤毛で、私どんなに恥しい辛い思ひをした事でせう』
甲『私も斯うい薄毛なんですし、母は母で、未だお婆さんといふ程でも無いのに白髪だらけで困つてゐますんです。何うしたら貴嬢の様な美い髪になれますの』
乙『若し天機洩すべからずとも、』
甲『いいえ、一生のお願ですわ、教へて下さいな』
乙『貴嬢これまで隨分種々な染毛劑をお使ひになつたでせう』
甲『えゝ、御一緒に種々苦心したのに其れが皆駄目でしたわねえ』
乙『それ其處です。私も最早染毛劑といふものは皆何處にか缺點があつて駄目だと思斷りましたが、最後に此間、評判のナイスで染めて見ましたの』
甲『まあナイスですか。評判は聞いてゐましたが、斯うしてお使ひになつた所を見ると評判以上ですわ。染めたとは見えません、全で生れつきの美い髪のやうですわ』
乙『それに何の勞も無しに、正味廿分で染ります、而て枕や著物の襟に少しも色が附きません、石鹸で洗つても些とも色が下りない位ですから一度染めれば隨分長く色艶が保ちますわ』
甲『餘程珍らしい進歩した染毛劑が日本で出來るんですか』
乙『え、/\、有名な健腦丸本舗大阪心齋橋筋の丹平商會の發賣で、永年專門の藥學者達が寄合つて苦心研究して漸く完成したのだ相です。が、成程それで無くちや毛髪好い染毛劑の出來る筈がありませんわ。各地の博覽會で金牌や銀牌を受けたのは數ある毛染の中でナイス丈だ相です』
甲『本統に惚々する樣な、而して性來の美髮の様な色艶ですわねえ、私も早速ナイスにしませう値段は』
乙『大瓶六十錢、小瓶卅五錢で男子用廿五錢てのもあります東京箔屋町の丹平支店其外藥店や化粧品店には何處にも取次いで居ます』

▲學者の研究……發表!!
新美容素の完成
▲垢ヌケする成分を含む
美顔水
▲垢ヌケする譯
▲ニキビ吹出物を治すには……?

都育の人は一般に山家育ちの人より垢ヌケしてゐます垢ヌケして居るからこそ都育ちの人は美しいと言はれるので、此「垢ヌケ」が無かつたら目鼻立なぞでは那麼に甚く變つてゐるのではありません。それ故美しくなるのには「垢ヌケ」が一番に必要だといふ事がお分りになりませう。
所で垢ヌケするのには、皮膚の新陳代謝と言つて、陳い汚い表皮を、新しい美しい表皮と入代へる、元來皮膚に具つてゐる作用を一層活潑にさせるのが第一ですが、其作用を極めて活潑にする成分を含んで出來てゐるのが美顔水で、殊に桃谷研究試驗部の學者が發見した新しい美容成分を原料に加へてから美顔水の効力は一層強くなつたので有名です。ですから美顔水を一瓶や二瓶で止めず、朝夕續けて使つてさへ被居れば、垢ヌケした眞に美しい人となられるので、上中流御家庭の御賞用が益々盛です。
次に同じお化粧でも、ヤボな田舍臭いお化粧と、スツキリと垢ヌケして、如何にも氣持よく美しいお化粧があるものですが化粧用美顔水で白粉を溶いて附ければ、白粉のノリやノビが非常に良くなり思ふ儘美しいお化粧が出來、殊に其化粧振がスツこして、垢ヌケのしたホントウに美しいお化粧となりますので大層重寶がられて居ります。
■尚ニキビや吹出物を治すのには別に「ニキビとり美顔水」がありますから其れをお薦致します

宮内省御買上品

名譽の美顔白粉を創製したる
桃谷研究試驗部
顧問 丹波藥學博士 山本醫學博士
專任 桃谷藥學士 小磯藥學士 寶藏藥學士

秋海棠

仁川期米 [illegible]

市場零聞 [illegible]

京城正米 [illegible]

京城雜穀 [illegible]

各地商況 [illegible]

(明治四十年九月十八日第三種郵便物認可)

京城日報

年中無休刊

(第二千九百十號)

定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金五拾錢 郵税共一ヶ月金七拾錢 郵税共三ヶ月金貳圓九拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄内一行金壹圓貳拾錢 ▲所指定一行金壹圓拾錢 ▲雜報欄 ▲三號活字は五號活字の二行 ▲二號活字は五號活字の三行 ▲一號活字は六行

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 坂口政太郎

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目

電話 編輯 長三四五番 營業 三二八番 振替貯金口座京城三〇〇番

桂公と帝國主義

—東洋協會講演會講演腹稿—

徳富猪一郎

二、桂公の桂公たる所以

然るに、時といふものは、大なる調和物であつて、二十七八年役には、端なく、此内治外展の二潮流を一致せしめたのである、否、其れのみならず、内治派に於ても、互ひに相反目したる藩閥とか、民黨とか言ふものを打つて一丸と爲したのである。日本では、帝國主義が行はるゝ時には必ず擧國一致するのである。又、擧國一致したる場合に於て、初めて帝國主義が行はれて居るのである。本題の主人公たる桂公に於ては、其人自身が擧國一致の雛型といふてもよからう。權化といふても宜からう。桂公が其力を精一杯に發揮したのは卅七八年役であつたが、當時に於ける桂公の働といふものは、實に目覺ましきものであつた。元老も、政黨も、實業家も、論客も、乃至は佛敎家、神道家、基督敎徒、若くば外國の宣敎師、新聞記者等迄悉く桂公の手に聚められて、しかも我が帝國の發展の爲めに凡てのもの丶力を一の目的のために用ゐたのであつた。何も、桂公彼自身が非常に偉いといふわけではなかつた。唯、桂公が恰も凡てのもの丶紹介者となり、融通者となり、連鎖となり、紐帶となり、而してまた中心となり、よく其の目的を達せしめ得ただけのことである、しかもこれ丈のことは決して容易のことでは無い、其容易のことでないことをしたのが、桂公の桂公たる所以である、若し、今日にでも桂公が在つたならば、此の世界大戰爭の時に於て此の千載一遇の機會を取り逃さず、必らず帝國の力を一にして、國勢發展の功を擧るであらうと思はれる今日、帝國主義の得失を論ずるが如きは、野暮の骨頂である。我國でも半可通の理屈を言ふ人には、隨分極端なる人道主義を唱へ、孟子も三舍を避くる程の論をなし、或は一種の無抵抗主義ともなり、或は一種の非戰主義ともなり、又或は一種の非國家主義ともなるやうな論者もあるが併しこれは太陽の前に蠟燭を灯すと言ふやうなわけで、對手にする程の價値も無い、好む、好まぬは、各自の勝手であつて、帝國主義は現代文明の一大事實である。一大勢力である。何人も之に敵することは出來ぬ。何人も之に逆ふことは出來ぬ。手近き一例を擧ぐれば、近代の世界政治家中でビスマルクとグラットストンとが先づ武斷主義と人道主義との兩極端を代表するものと見て宜からう。しかるに人道主義の所謂基督敎的政治家の標本たる虞翁が一度當局者となるや、遂に埃及の占領を斷行したのである。是れは虞翁其人にとつては誠に嫌なことであつたに相違は無い。此の一事の爲めに彼は其の親友たるブライトを内閣より失うたのである。しかるに之を斷行せねばならなかつたといふは何故であらう。大勢如何ともす可らざるものがあつたからである。虞翁でさへも此通りである。如何なる議論が有つたにせよ、事實は致し方無いのである。唯、其の帝國主義に、自ら二節の傾向が有る。是に就て、吾等は少しく觀察せねばならぬ。

閑餘隨錄

大谷光瑞

三、香（承前）

今これを考ふるにタマラ葉は謬説一ならず或は Xanthochymus pictorius (garcinia xanthochymus) 也と云或は laurus cassia (Cinnamomum tamala) なりと云ふ甲はマンゴスチンと同種にしてグッチフエラ工科に屬し其葉頗る大なれども特に香氣あるを聞かず乙は桂と同種にしてラウリネアエ科に屬し一樹孰れの所も芳香を有せり今指す所恐くは乙なるべしアガルは本邦に云ふ所の沈香なり樹名は aquilaria agallocha にしてサイメラエアシエ科に屬し東ヒマラヤ、アツサム、カシアヒル地方マルタバンヒル等に產す百尺に達する常綠喬木なり樹身は白色輕鬆にして毫も香氣なく既に要材に非ず殆ど薪材の用だもなさず香料は樹幹枝幹等に脂狀をなし暗色の凝結をなし存在せり蓋し樹の病より生ずる偶然の物なれば全木に一片も發見せざること稀なりとせずこれを採り水中に投じ比重水を踰え水底に沈むを上とす沈水香の稱是より生ず是香本邦知らざる人なし故に詳説する要なし古より本邦に傳ふる所の各香は概ね皆此種に屬すカーラースサーリはマックスミユレル氏は黑色の旃檀香なりと譯せりモニエルウーリヤム氏は黄色、旃檀とベンゾイン油の二譯を掲ぐアマラコシヤ(梵文の單語集)にも兩者の名ありマックスミユレル氏の黑色と云ふはカーラの字を譯せるにより起り黄色と云ふは旃檀の白色に對し名くる所にして換言すれば黑も黄も唯白に對し暗色を帶ぶるより付せる名稱にして別物に非ずベンゾイン油は全く別なり今指す所は暗色旃檀なるが如しタガラは樹名を tabernaemontana coronaria と云ひアホサイナシエ科に屬し六尺より八尺に至る灌木なりフーカー氏は其の原産地は不明なれども全印度に栽培せりと云へり往古より培養植物にして野生狀態に於て存せざるならん此の花白色にして頗る香氣強し今指す所は此の花香なるべしウラガザーラチヤンダナは蛇の旃檀の義なり玄奘三藏は旃檀儞婆樹と云へり其文に曰く『樹類白檀不可以別。唯於盛夏登高遠。瞻其有大蛇縈者。於是知之猶其本性。涼冷故蛇盤也』今樹名を考ふるに Santalum album に同じフーカー氏は此一種を擧げ他のサンタラム、ミルチフオリユムトと名るものあるも香氣稀薄にして遠く及ばずと云へり唯サンタラムア、ルバム中少許の異種あるならんか（未完＝九月十日旅順に於て）

日本の恩人來る

山縣生

日本は外人間に多くの友人同情者を有す、然も日本を思ひ日本人を愛するの深き監督ハリス、博士スタージの如きは稀なり、二氏共に高德の君子人、吾人は二氏を我日本の友人として有するを光榮とする者なり

ハリス監督の事は知る人多し、スタージ博士に至りては知る人猶ほ多からざらん博士近日我京城に來遊せんとす、此機會に於て、余をして氏につきて語らしめよ

氏は在米邦人の親友なり、父にして又母たる也、在米邦人の氏より直接又は間接に恩惠を受けざるは稀に彼等の氏を敬慕するまた父母の如しのみならず氏は我日本の一大恩人なり、何となれば氏は日米問題の起る毎に、熱心に我國の辯護に努め、日本に對する米人の誤解を除去するに盡すや頗る大なり、氏あるが故に、日米兩國の親交益々鞏固に、氏の力によりて太平洋の浪は常に靜かなるなり

氏は詩人なり、曾て詩集一篇を刊行したる事あり、其歌ふ所殆ど皆我國に關する題目にして、其思想も亦頗る日本的なり、氏曰く、我が肉は米人なれど、我心は日本人なりと、氏又曰く、余は七度生れて、日本の爲めに盡すことを誓ふと

氏は在米邦人を代表して彼等の聖上陛下に獻上せる聖書を携へて近く來朝したるが、過日氏の名譽の爲めに帝國ホテルに於て晩餐會の催さるあり、當時席に列せる紳士二百を越え、奥田市長、瓜生海軍大將、尾崎司法大臣、澁澤男爵、其他宗敎界、實業界の指導者を網羅したり、此事氏が曩に我皇室より勳五等を贈與せられたる事と共に、如何に氏が我國の朝野に重んぜられつゝあるかを證するに非ずや

此高德の紳士、我日本の恩人は我朝鮮を訪ふべく、來十五日京城に到著する筈なり、吾人をして滿腔の誠意を以て氏を歡迎せしめよ、以て吾人をして吾人が感恩の人民なる事を世に知らしめよ、今や日米兩國の親交は舊に倍して深厚なれど、常に我國を敵視するハースト一派の黃色紙あり、無知の群衆を煽動して我國を害せんとするホブソン一派の政客あり、彼等は機會ある毎に平地に波瀾を捲起して日本の關係を危からしめんとす、吾人はスタージ博士の盡力に待つもの多し、氏を歡迎するは只に氏に感謝の意を表するに止らず、又日米の親交に貢獻する所以、願はくば京城人士のスタージ博士歡迎の熱烈にして忠誠ならんことを

日報俳壇

雉子郎選

廢暑

積上げし秋に廢る暑さかな　曉宇

干竿の割る丶廢暑の日ざしかな　黄丘

夜長

案打つて陰謀成るや夜長人　橙黄子

娌と居て夜長もの遊びけり　同

怒り合ふ對座物言はぬ夜長かな　奇好

長き夜や瓦斯の灯音に馴れ坐す　未知男

朝寒

朝寒や毛ぬけ子犬母を戀ふ　五城樓

朝寒や水車狂ひし碎け米　雉郎子

本日 夕朝刊附錄共 十二頁

賣却土地廣告

第一號 清州郡南一面外所在 畓、田 千三百六十二斗落
第二號 清州郡北面所在 畓、田 六百七十九斗落
右 入札場所 京城德壽宮
入札期日 十月二十三日午前十時

第三號 海南郡海南面外七面所在 畓 千四百八斗落
第四號 海南郡門內面外所在 畓 千四百八十五斗落
右 入札場所 木浦府廳內李王職出張員
入札期日 十月二十三日午前十一時

追テ詳細ハ德壽宮事務室又ハ木浦府廳ニ照會アリタシ

大正四年十月　元慶善宮遺産清算委員

家庭博入場者に限り
▲民友社出版書籍 全部二割引
京城日報代理部

力ある獨逸教育の眞髓
東京帝大文科大學助教授 東京女子高等師範學校教授 文學博士 吉田熊次先生著
獨逸の教育

悉く我國當面の教育問題に觸るゝ

菊判上製四百頁◎定價金壹圓卅錢◎郵税內地八錢
輓近五十年間に於ける獨逸商工業の急速なる勃興と、露英佛伊を相手とし、敵をして一歩も國內に侵入せしめず却て敵軍を敵地に苦むるは何に起因するか、一に敎育の力に基かざるはなし。本書は之を、戰爭と獨逸の敎育 獨逸の高等敎育 獨逸の中等敎育 普佛戰爭と獨逸の敎育界 獨逸の初等敎育 獨逸の實業敎育 獨逸の女子敎育 獨逸魂の精華の八章に分ち、著者が曩に獨逸に遊びて實地調査せる材料を基礎とし、卓越なる識見を以て詳論細說せるものなれば本書を通じて始めて獨逸敎育の眞髓を窺知するを得べく、而して又悉く我國當面の敎育問題に觸る。敎育者は勿論一般父兄等苟くも力ある敎育によりて、國家の將來の發展を希ふの士は、必ず一讀せざるべからず。

東京神田 富山房 (振替五〇一)

◎帝國經濟 讀書會
第十回會員募集照會は郵券三錢封入會側より定價表送呈、當會方に設立ある(帝國經濟諸會)會員は東京第一流の諸雜誌及内外書籍廢本を定價の五分一乃至十分にて購買し得便法有り
橫濱市南吉田町 合資會社アヅマ商會(電話八六九振替東京四五九九)

空前の大好評を博せる本書の特色

紳士。紳商。官公吏。學者。銀行員。會社員。其他各種勤人向の住宅。隱居所。別莊。別宅。貸家等は如何に圖案し建築すべきや。門。玄關。入口。應接室。客間。居間。書齋。圖書室。子女勉强室。茶の間。書生部屋。女中部屋。臺所。土藏。便所。湯殿。物置等は如何に考案配置すべきや。本書を一見せば何人にても之を知悉し自由に取捨選擇應用し得らる可し。

天覽 台覽 賜

日本住宅建築圖案百種

(大阪印刷全一册金緣美製本)(銅版彫刻細密正面圖及間取圖百枚)(說明及概算建築費書百枚)(卷末雜作圖案二十枚)

特價 壹萬部限り 金三圓五十錢 及び(內地送料金廿四錢滿韓臺樺四十五錢歐米各國二圓)(正價金五圓)(注意)(部數盡くる時は直に正價に復す)

內容一斑
(一)本書は。建坪十坪以上百坪に至る平家及び二階建の正面(外形)平面圖(間取)百種を二百分一の精密なる銅版印刷。
(二)本書は。毎圖に適切なる說明を加へ、居住者の身分と家族の多少に應じ其間取の配置を取捨選擇自由自在ならしむ。
(三)本書は。一坪に要する概算建築費を材料(木材)の種類により、之を甲乙丙の三等級に區別し、其金額を毎圖に明示す。
(四)本書は。卷末に雜作圖案(床、棚、高欄、階段、窓、玄關、欄間、懸魚、拳鼻、頭貫鼻、獅子口、鬼板、門、塀)數種を揭ぐ。

住宅 發行所 東京市京橋區南槇町十三番地 工業書肆 建築書院 (振替東京九四一八)(電話京橋四七七)

時代の要求
東京帝國大學工科大學教授 工學博士 伊東忠太先生校閲及序
宮內省內匠寮技師 金子清吉先生著 (特價提供)

住宅 日本趣味の住宅を建築せんとする各位の最も便利なる圖案集
◎十坪より百坪に至る、有ゆる階級に適應せる日本式住宅の外形と間取圖を示し、其概算建築費を揭げ、且つ各室配置方を說明したる、現代最も多大の要求せる實際に應用さるべき、我邦建築界に於ける實用的圖案にして、斯界稀なる良著也。
◎專門家と素人とを問はず、一見何人にも撰擇應用自由自在、即時理想的住宅を建築し得らるゝ、斯界唯一の便利なる圖集にして、現代の要求に應ずる新著也。
第五版(發賣)

會員募集 追加
大日本文明協會
會長 伯爵 大隈重信
編輯長 法學博士 浮田和民
理事長 市嶋謙吉
會費 正會員 准會員
◎第三期完結に付此際第一期募集す
▲苟くも修養を念とする發展的國民は必ず本會に加入せざるべからず
▲第二期第三期共准會員制を設け入會極めて便利也—至急申込あれ
詳細書目付 會則 無料送呈
東京市麴町區元園町一丁目二十七番地 大日本文明協會事務所 電話番町四五三二 振替口座東京二一八九番

御大典の奉祝と記念
天皇陛下御尊影
頒布取次特約店募集(一地方一個所に限り特約す 特約規定進呈、要送料二錢)
特別號 兩陛下御束帶 實費四十錢 郵税八錢
乙號 大元帥御服裝 實費五十錢 郵税八錢
甲號 天皇陛下御束帶 實費三十錢 郵税八錢
丙號 兩陛下御寫影 實費廿五錢 郵税八錢
右四種の御尊影は本會が齋戒沐浴して謹製したるものにして意匠の莊重嚴肅なる、印刷の巧技卓絕なる、應用せる浮出しの典雅優秀なる眞に至尊拜寫の用意を盡せり御希望の各位は至急御申込あるべし ◎見本一組に限り金壹圓御送附あれば四種取揃へ直に郵送すべし
申込所(東京神田錦町十六 電話本局一五三九 振替東京三〇九四三) 大典紀念 國民奉祝會

大日本文學會
文章講習錄
坪内逍遥先生 森鷗外先生 幸田露伴先生 夏目漱石先生 大町桂月先生 島村抱月先生 五十嵐力先生 … 監修 賛 翼
一流の…
新學期 十一月號 初號出づ
進呈規則 無料
大日本文學會

時間表 (行南) (行北)

◎籌安會の主張

籌安會にては憲法は欽定とし現今の憲法起草委員會は取消すべしと主張せり（北京特電）

◎第二回米作豫想

本年の米作に關し農商務省に於て第一回第二回の收穫豫想を發表したるが更に第二回豫想は第一回に比し約二分二厘減にて五千五百六十萬石の數字を現はし昨年實收高に比し約三分減を示したり去る十日夜來の暴風雨にて關東地方は僅少なる被害ありしもの〻如く然して今後餘程の強風か又は不時の天災なき限りは第三回豫想よりさしたる減收を見る事なかるべしと當局者は語れり（東京特電）

◎大隈首相歸京

大隈首相は十二日神宮の參拜を終へ同夜名古屋にて新任外相石井菊次郎と落ち合ひ相伴ひて十二日午前八時四十分東京驛著歸京の豫定なり（東京特電）

◎奉賛會へ令旨

明治神宮奉賛會總裁伏見宮殿下の御召乘用車により山縣、松方兩總裁を始め大山、東郷、土方、原、一木の各顧問德川會長以下各員四百餘名は十二日午後一時より前後して新宿御苑に參集午後二時式場に入るや總裁の宮殿下には馬場別當の御先導にて御臨場、令旨を賜ひたる後食堂を開き殿下は一同に對し酒饌を賜はりたり

令旨

明治神宮奉祀ノ事起ルヤ國民ハ熱誠ヲ以テ此聖旨ヲ翼賛セム事ヲ冀ヒ茲ニ明治神宮奉賛會ノ成立ヲ告ケタルハ貞愛ノ深ク怡フ所ナリ惟フニ先帝並ニ皇后ノ聖德遺範ハ至洪至大誰カ之ヲ欣仰セサルモノアラムヤ本會ノ起事ハ即チ此至情ノ發露ニ外ナラサルナリ貞愛兩陛下ニ奉侍スル事多年至渥ヲ蒙ムリ恩寵ヲ忝フスル事深ク常ニ皇恩ノ萬一ニ報センコトヲ思フ今ヤ諸子ノ推戴ニ依リ本會ヲ總裁スルハ貞愛　先皇ニ盡スノ一端タラスンハアラス諸子克ク協力戮力目的ヲ完成セム事ヲ望ム

明治神宮奉賛會總裁大勲位功二級　貞愛親王

◎露の電氣銅註文

露國政府より三井物產に對し兵器材料として電氣銅一萬噸亞鉛五千噸の大註文來れり（大阪特電）

◎英國よりも註文

英國より神戸製鋼所に對し砲架百八十臺の大註文あり引受たるが唯砲彈四〇〇萬發の注文は多數なるを以て立ち消えとなりたり（大阪特電）

◎石井男東上

新外相たる石井男夫妻等一行十二日午後二時神戸著六時半三の宮發東上せり（大阪特電）

◎後藤男動靜

後藤男一行は十二日大連神社に詣で其れより滿鐵本社、中央試驗所、沙河工場を視察し星ヶ浦にて午餐を喫し公學堂其他を視察し午後五時滿鐵社員の歡迎會に臨み尚午後七時より石本市長主催のヤマトホテルに於ける大歡迎會に臨み席上男は在殖民地人の注意すべき事に就き懇切なる卓上演說を爲し其れより主客大に歡談を交ゆ男は十三日發朝鮮に引返し歸東すべく中村是公氏は同日哈爾賓丸にて歸京すべし（大連特電）

雜報

◎江西將軍更迭？

支那江西將軍陸榮廷を辭職せしめ王相同後任たるべしと（北京特電）

●河野農相出發

朝鮮始政五年共進會及び朝鮮鐵道一千哩祝賀會に臨場旁々朝鮮視察の爲め來鮮せし河野農相一行は十三日午前八時三十分發列車にて歸東途中枝光製鐵所に立ち寄るべしと

●煙草業者大會

煙草業者懇話會は既記の如く十四日より十六日まで三日間大漢門横中樞院内度支部分室に於て開催の筈なるが時間は毎日午前九時三十分より午後五時まで三日とも講演あり、其演題及び講師左の如し

煙草耕作法　大藏省專賣局技師　新庄三郎

煙草製造法並に工場管理法　同　神田孝一

英佛伊米玖馬各國に於ける煙草產業の現況　總督府技師　岡田虎輔

而して本日までに決定せる參會者は官民を合し二百十餘名なるが會場の餘裕あらば一般の聽講を許す可く又た講話會員に對しては記念撮影を爲し希望者には實費約八十錢を以て頒與す可し

●赤潮試驗

元山港に現はれたる赤潮＝ペリテニユームの發見＝發生の原因と海鼠の斃死

秋刀魚漁業試驗の爲め元山沿海に出張中なる富樫技手より總督府水產課への報告に依れば五六日の頃元山の北方三里なる望德山下の沿海に於て夥しき海鼠の斃死せるを發見せる者あり、其斃死數は明瞭ならざるも四斗樽に收容せば十個以上に達す可しとの事なるが此他の個處に於ても斃死の海鼠尠からず、而して同沿海は當時

▲海水大に混濁し場所に依りては醤油色を呈せる處ありて漁民は之れをニガ潮と稱し居れるが七日に至りては元山港内海岸石垣に近き場所に於て海水混濁し赤潮と認めらる可き徵候を呈し越えて八日に至るや附近の海水は醤油色に變じ處々に水垢の如きもの浮出で〻純然たる赤潮を呈せり、之れをシリンドルに汲み取り見るに微細なる無數の生物浮游し

▲該生物の色素より海水を變色せしめたるものと認められたるを以て同地稅關小金丸技手に依賴し檢微鏡下に視檢せるに這はペリテニユームと稱する生物なる可く、曾て横濱灣内に赤潮發生せる際岡村博士出張調査したる當時檢微鏡に現はれたるものと形體全く同一なりと、而して小金丸技手の說明を聞くに内地に於ける赤潮の原因は概して前記ペリテニユーム發生の爲めなりとの事なるが朝鮮に於ける俗にニガ潮と稱するは年々

▲七八月鎭海灣附近の水面に發生し東海岸に於ても亦年によりて發生する事ある由なるも未だ何人も之れを調査したる事無きが如し、然るに偶然同港に於て赤潮の襲來に會し小金丸技手によりてペリテニユーム種たること發見されたるは斯界の爲め喜ぶ可し、右發生の原因は不明なるも赤潮を汲み取りたる場所の比重は一、〇二三五

▲水温十七度半にして特別の温度なりとは認められず、鎭海灣に於て年々發生する場合は降雨後に多きが如く同地に於ても四日間降雨の後に於て發生したるより案ずるに這は降雨又は淡水注入と至大の關係を有するものにあらざるかと思推す而して此赤潮は九日朝天候快晴と共に消散し海水亦普通の色に復せり因に此ペリテニユーム種は斃死に際して有毒物に化するをあれば海鼠の夥多の斃死を見たるは或はペリテニユーム斃死の沈降に因るものならむと

●東西南北進論

板垣内相に叱られたよ＝朝鮮に五百萬の母國人＝旭旗の如く東西南北へ

早川鐵治氏談

今更らしく云ふ迄もないが日本の人口は一年に六十萬人宛殖えて行く、能く論ぜられる事だが何とかしなければならない海外發展は其唯一路である、とは言へ勢力の空費は總てを徒爾に終らしめる即ち移住すべき土地の選擇を誤れば不要の苦辛を嘗めさせられる

▲爲政者の心得可き所である予は所謂外交家の外交策に慊らないものだが徒らに蕞爾たる黨派心に囚へられて或は北守南進、或は南守北進と發展路を限定するが如きは正に論ずる値もない事だ笛に北進南進とは言はぬ東西南北、何處にでも進み何處にでも發展するがい〻我輩嘗て『日本の貿易は地獄の先導だ』と言つて時の板垣内相から叱られた事があつたが今も尚さう思つてる現にさうぢやないか日本の地獄は北はニコライエフスク、カムチヤツカ、南は新嘉坡、ペナン其れが進んでは濠州に及び西の方アデンに到り東は北米の野に迄發展してゐる而して

▲其發展の徑路は皆軌を一にして決して政府の保護に據つてではなく自ら進んで行つたのだ其地獄等が赤いものやペラ〳〵した物を欲しいと言ふと貧弱な荷を擔いだ行商人が行く其れを見て土人が欲しがれば其處にさ〻やかな商店が開かれ次第に國際的となつて行く係るが故に我輩は日本の貿易は地獄を先導とすると言つたのだが係くの如くにして發展したがい〻日本の海外在留人は尚々少い海外と云ふ譯でもないが

▲朝鮮に在る母國人が三十萬と稱せられてゐる千三百萬に三十萬は餘りに鮮い是非共五百萬迄にしなければならぬ滿蒙に對しては折角大隈内閣が道を開いたのだから尚少し進展しなければならぬ先づ三百萬の母國人を植え南洋に對しては五六十萬北米に對しては三四十萬濠州は今回の戰爭に依つて大に日本を德としてゐるのだから今後益々發展すべきである我輩は係くの如く東西南北進論者なのだが一體日本人は何縣人會だの同郷會だのと小區域に拘泥して小安を快しとするの傾きがあるが之を移して縣人會を邦人會に變更する事に心懸けねば噓だと思ふ日本の將來は極東島帝國を中心として帝國の表象たる旭日旗の放射線の如く東西南北に發展しなければならぬと思ふ係く思ふ時我等日本人の資や大に力の張溢するを感ずる

大共進會　出品概觀（廿）

審勢舘（黄海道）

慶南と相對して中央に六角形の大人造石塔を据えたるものを黄海道とす此石塔は海州著名の梵字塔を模したるものにして塔面には十數枚の寫眞を掲げ内部に電燈を點じて本道に於ける重要獎勵事項即ち農業工業漁業教育等の既往及び現況を映出し又正面の兩隅には二基の石塔を置きて之れに道生產力の一般を掲げ電力に依りて回轉し衆目を惹くの裝置を爲し兩者相俟て主要獎勵事項の種類と並に其の獎勵の効果とを示せり正面の背景は黄海全道の實景にして之と連絡して配置せる各種模型、標本、成績品により農事、養蠶、漁業、工業、交通、普通教育等の變遷を展示し進歩改善の狀況を一瞥の下に首肯せしむ

先づ農業に在りては其の改良發達を助長する爲各郡に傳習所、講話會等を開催し、是等修了者には種苗の無償配付、改良農具の給付又は貸與を爲し、重要農作物たる米、麥、大豆に付ては十年計畫の下に優良種の普及を圖り施肥、播種、耕耘、乾燥、調製等の改良に努めたる結果併合當時米產額は六十六萬六千石なりしもの大正三年に於ては七十九萬六千石に躍進し、麥十四萬二千石なりしもの四十二萬七千石に、菽類四十一萬一千石より五十六萬四千石に上れるが殊に長淵大豆の如きは改良の實蹟注目す可く、其他煙草七十六萬圓、棉二十二萬圓等の收穫あり、收穫の增加は同時に品質の改良となりて著しく農業生產額を增大し、四十三年に於ける農業生產額は千八百萬圓なりしもの今や實に二千三百五十萬圓に達するに至れり工業に在りては機業、窯業に主力を注ぎ海州に於ける石細工の如き亦偉大の發達を示し織物は廿三萬四千圓より卅九萬五千圓に、陶器は四萬八千圓より八萬五千圓に其他全工產品を合せば九十一萬圓より百六十七萬圓に上れり

●第二次第三次共進會

昔の朝鮮を知つてればこそ今度の共進會が非常に興味がある

宮尾舜治氏談

私は朝鮮には隨分の古馴染みだ十七年許り以前大藏省にゐた時初めて來て殆んど朝鮮全道を踏破した其れから四年程前に一度、一昨年一度。其れ是れ比較して思ひ合はすと

▲所謂霄壤の大差がある其れも最初見てからの十二三年間は殆んど變化もないが此數年間の變化は素晴しいものだ其れから又此最近三年間はさしたる變化もなかつた係くて今日此共進會が開かれた事は非常に意味ある事だと思ふのである一體私は共進會や博覽會に就ては大に意見を持つてる共進會や博覽會の專門的なものならばいざ知らず一般的なのを何等の主義もなく方針もない樣な調子に雜然と陳列したの抔は營業的のものであれば兎も角國庫支出に依つて開設するが如きは以ての外だと思ふ娛樂的に見るならば其れもよからうが

▲教育的結果を得る爲めにするに於いては何等の效もない、だから西洋あたりでも最近餘り其の種の事はやらない樣になつた然るに位置を替へて未開蒙昧－と云ふと異樣に聞えるが事實或る意味に於て未開蒙昧な例へば殖民地などに於ては非常に必要だと思ふ。然も今度の共進會が私の理想を實現してる樣にそつくりと氣に入つてしまつた大分お忙しい相だから總督府の當局者さへ未だ面會もせず隨つて說明も意見も聞かないが整然と秩序的に陳列された内容は

▲一日直に十三道五年間の經過を說明する私は朝鮮通を以て自任してゐる者だが母國在住者は固より恐らく朝鮮在住者と雖も朝鮮其ものを充分に理解してゐる人は鮮からうと思ふ又朝鮮人自身にしても恐らく朝鮮自身を充分に知つてゐなかつたらうと思ふ即ち今度の共進會に依つて十三道の狀況を手に執る樣に見せられて裨益した者が鮮くないたらうと思ふのである餘りに疎隔してゐた朝鮮と

▲母國との距離を近接せしめ誤解勝ちであつた母國人に正當な朝鮮を理解せしめた事は云ふ迄もなく他方には朝鮮人をして勉強さへすればいくらでも勉強に伴れて收得の多くなる事を說明して餘りある此教育的精神こそあらゆる共進會にとり最も大切な核子である今度の共進會に現はれて終始一貫した此精神も別に當局者の說明に依つて知つた事ではなく唯私自身の感じた事なのだから或は當局者とは意志が異つてるかも知れないけれど若しも私が當局者であつて此種の共進會を開設する機會に遭遇したとするならば乾度今度の共進會の樣な趣旨の共進會を開いたらうと思ふ其れ程に私は今度の共進會を

▲私自身の理想に恰適したものだと思つたのだ然るに今度の共進會に就て更に見る處もないかの如く一言の下に批難し去る人もあるが各自異つた位置に立ち違つた見方をさせられるかも知れないとは言へ一言に批難し去ると云ふ事は當を得ず寧ろ誤つてると思ふ更に是迄の朝鮮を知らず唯徒らに朝鮮の開發に就て誇大に想像してゐた人などは或は多少豫想に反したものを見たかも知れないけれど若しそんな人があつたら位置をかへ心を改めて見直さなくちやならない殊に私は古い〳〵朝鮮を知つて

▲其變化を辨へてゐるから實に深い興味を持たされたのだ朝鮮の事が分つてる人は見ないがい〻併し恐らく此共進會ほどによく朝鮮を理解してる人は一人もないだらうと思ふ其れ丈けに此共進會は萬人に利益を與へるだらうと思ふ係くて今度のを第一期として更に第二次、第三次と共進會が開かれて益々發展し開拓されて行く徑路を見せて頂き度いと思ふ

■金剛山探勝中の德富監督より

秋雨今朝晴れ直ちに長箭港より九龍淵を踏破して只今温井里ホテルに歸る、秋は滿山を染め奇峰怪岩亦一段の彩光を帶ぶ、此の時此の景言語に絕す、一行元氣旺盛なり十三日萬物相を觀て長安寺に向ふ（十二日午後八時四十分温井里發電）

●仁川九月石油

仁川九月中石油輸入は三十三萬九千二十九圓にて前月の七百四十六圓に比し甚大なる增加を見るに至り前年同月の皆無に比し全額の相違を表したるは九月中はスタンダード石油會社の手により取引せられたる對島丸の入港ありしによるものにして船便の都合によりたるものなり且夜長の時候となり本品の需要が漸次喚起せられつ〻あるも亦一原因なり市場賣行は普通にて相場は松印一函三圓八十五錢勝利三圓七十一錢旗印三圓六十六錢なり

●鐵道最近倉庫狀況

鐵道局調査に依る九月中に於ける倉庫營業成績を見るに入庫數量千三百二十八噸出庫數量一千二百四十八噸にして之を前年同期に比較するときは入庫に於て一千七千四噸を出庫に於て七百四十四噸の何れも增加を示せり而して之が總收入は六百七十三圓四十六錢にして昨年同期に比し八十四圓六十錢の增收にして之が内譯は倉敷料六百四十五圓八十三錢雜收入二十七圓六十三錢なりと

●高知縣視察團宿所

高知縣商業會議所朝鮮視察團二十五名は十三日午後九時入京萬千閣に投宿す可しと

人事消息

▲土岐嘉平氏（高知縣知事）十二日入京円城館へ

▲佐藤長之助氏（尾張屋銀行取締役）同上

▲北村正次郎氏（大阪貿業銀行取締役）同上

▲淺井佐一郎氏（漢城銀行平壤支店支配人）十二日入京山本旅館へ

▲菊池太惣治氏（新義州地方法院判事）同上

▲久保田穎氏（同檢事）同上

▲蓬萊紋太郎氏（寧邊支廳判事）同上

▲納村貫藏氏（安州支廳判事）同上

▲更に動かず

大阪下容を報じたる如く意氣沈し居るが賣買高も激減を來したるより見れば[illegible]の極みと思はれる[illegible]後寄五十錢の入荷當地では八圓八十三錢先八圓六十三錢と寄付たるも大阪三節六十四錢の高移りにて買物節はれたるも今より買物の出るに隨ひ[illegible]

大阪株式特電（十二日後場）

東洋捕鯨　大阪商船　日本郵船　大阪米穀　東京新株　大阪株式　[illegible]

下關期米（十二日後場）

十月限　十一月限　十二月限　[illegible]

十二日の十二月限　寄付　八圓六十三錢　[illegible]

賣買取組高　十月限　一千九百石　十一月限　一萬九千九百石　十二月限　[illegible]

東京帝國大學理科大學教授理學博士　飯島魁先生校閱
東京帝國大學農科大學講師農學士　內田清之助先生著

日本鳥類圖說

續編定價四圓　正編上下各五圓　正編上下合本十圓

續編（臺灣朝鮮之部）

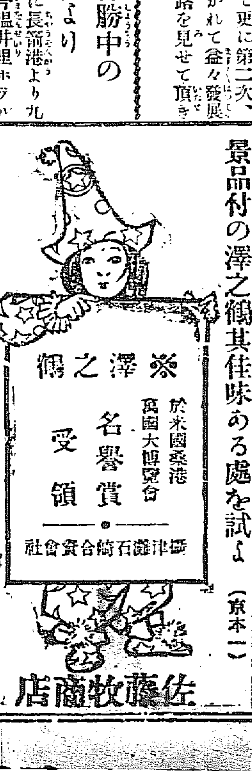
□本編には邦產鳥類中其最も特色に富む臺灣島及朝鮮產の鳥類を網羅し、正編即ち舊日本の部と合すれば實に大日本全土の鳥類總圖說をなす、朝鮮の部は同地方鳥類專攻の一理學士、臺灣の部は鷹司信輔、黑田長禮兩氏特に本圖說の爲めに執筆せられたるもの□記述の樣式凡て正編に同じく一々『目』『科』『種』等の索引表を添へ、種類の檢索に便せり。□圖版は何れも理科大學所藏の標本により、橫山慶次郎畫伯の寫生せるものにして、原色版四葉、寫眞銅版七葉、挿畫十數個總計百餘種の精緻密なる寫生を掲ぐ

□附錄　[illegible]

□發兌　東京京橋尾張町　振替東京五五三　警醒社書店

景品付の澤之鶴其佳味ある處を試よ（京本一）

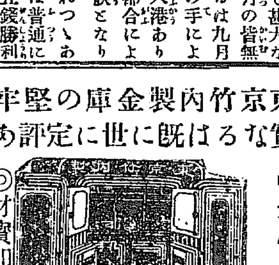
壹升に付拾五錢安い其眞價を試せ（電二九）



佐藤牧商店

和洋ストーブ一式
煙突製造ストーブ
据付、板硝子
ペイント塗料
京城本町二丁目
岩見伊勢松商店
長電話二一三番

東京竹內製金庫の堅牢なるは既に世に定評あり



◎金庫を使用せざる人は財寶を貴ばざる人なり
◎財寶即ち生命なり金庫は遺憾なくこれを保護す

特約販賣店　和洋金物商　藤次郎本店
京城本町二丁目　電話四五番　振替貯金京城二七七四番
○御申越次第目錄進呈す○

三和高麗燒は宮內省御用の光榮に浴したり
香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々

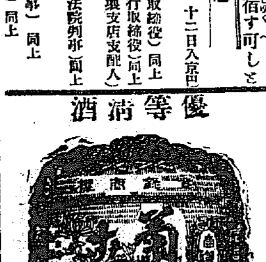
三和高麗燒　朝鮮特產海老の精

海老の精は風味佳良。滋養分豐富にして貯藏久しきに耐へ御土產として絕好の珍品に御座候

三和高麗窯元　海老の精發賣元
朝鮮鎭南浦　富田商會

特約店　京城 龜屋商會　同 津村商店　仁川 澁川商店　平壤 龜屋支店　大邱 [illegible]文店　淸津 [illegible]商店　江景 [illegible]商店

優等清酒



福岡縣三井郡山川村
釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元　富安京城支店
電話一〇三九番　振替口座四三九番

新...　五一、五〇
合同紡績　一二三、八〇　九月
鐘淵紡績　九五、四〇　十月限
同新株
▲十二日後場　一一七、四〇　一一八、二〇　一一八、二〇
...寄付十二圓三十四錢 止め三十一錢...十二圓五十七錢止め五十九錢

仁川米豆取引所
▲十二日後場　△大阪前止六十錢
...四千二百石...三六百石...五百石...百石...六百石...百石...四百...七百石...三...千石...

▲陰の極み乎　大阪の大變動を見て依然保合を繰り返し居る仁川市場の人氣は頗...

大共進會

變化は進化なり
國民性をして獨創的たらしめよ＝藤澤醫學博士談

今度は醫學大會丈けに來たのだから各地の視察も出來なかつた此前に滿洲のペストを視察に行つて歸りにも通過したが

▲通る度毎見る度毎に變り行く朝鮮の樣子の著しいのを特に感ぜざるを得ない變化必ずしも進化と稱する譯にも行くまいけれど沈滯して變化のないのと比較すればどれ丈けいゝか知れやしない予は二三度獨逸に行き其度毎に佛國なり英國なりを瞥見したが獨逸に最も大なる變化を認めさせられる然して其度毎に變化必ずしも進化ではあるまいが沈滯した無變化に比して遙に有意義に感ぜられた一國の

▲變化と無變化こには其依つて起る所は勿論種々原因があらうが國民性の影響する所鮮少ならざるを思ふ獨逸が見る度に變化するのは何に據るか、國民性の如何なる部分が關係してゐるか予の如き門外漢に解り得る筈もないが丁度一昨年から昨年にかけて獨逸にゐた時の如き種々の方面から專門以外の事を見聞させられもした丁度其頃日本では非常な勢ひで

▲オイケンの哲學が流行つてゐた併し獨逸では決して其れ程でない是れなど頗る興味のある事だと思つた豫言者は鄕に入れられずと言ふが全くだ獨り哲學のみと言はず總ての方面に於て日本は尚少し獨創的にならねばならぬと思つた今度の戰爭の如きでさへ唯單に

▲外國の模倣を續けてゐた爲めに被むつた損害は蓋し少くない此戰爭と云ふ事が機會となつて根本的に日本の國民性を變化させる程の刺激をあたへられない迄も必要に迫られて利益を受くる事鮮くないと思ふ其れは當に大に悅ぶべき事である

隔世の感とは是れ
岩崎久彌男の共進會觀＝武田中將、馬越恭平氏等で賑つた急行車

岩崎久彌男武田機關中將一行の搭乘せる安東急行列車を十一日午後二時沙里院驛に迎ふ、其前部聯結の一等車に控へし堂々の長軀、深沈なる態度赤銅色の面に思慮深き眼を光らせし男爵は極めて質素の洋服を著け程町嚀謙讓の態度にて語る

▲帝國財界の巨頭　と思へぬ「共進會を見物した亦朝鮮の鐵道沿線と京城の市街はザッと乍ら見て來た乍併何等纏つた意見と云ふ者は泛んで來ぬ多少の感じはあるけれど其れは口外すべく餘りに貧弱である、私は之れから兼二浦より鎭南浦に出て平壤を經て再び京城に入り更に亦共進會場へ足を向けようと思つて居るから其際は多少視察談も出來るであらう乎、然し唯一つ今でも私の頭に

▲明らかに映つて　ゐるのは朝鮮の開發が豫想外に進歩せる事だ第一其れを具體的に表現せる記念共進會も內地で評判を聞きたる以上に會場內の完備整頓亦其の出品の多種多樣に亘り數に於ても量に於ても其の夥しきに一驚した乍失禮思つたより實に立派なお催しである、私は日露戰後の混沌たる時代乃ち七八年前朝鮮內陸を旅行したが當時の京城に於ける記憶は今回の入京に何等のしるべとなり能はざる程街路狹々般形容の

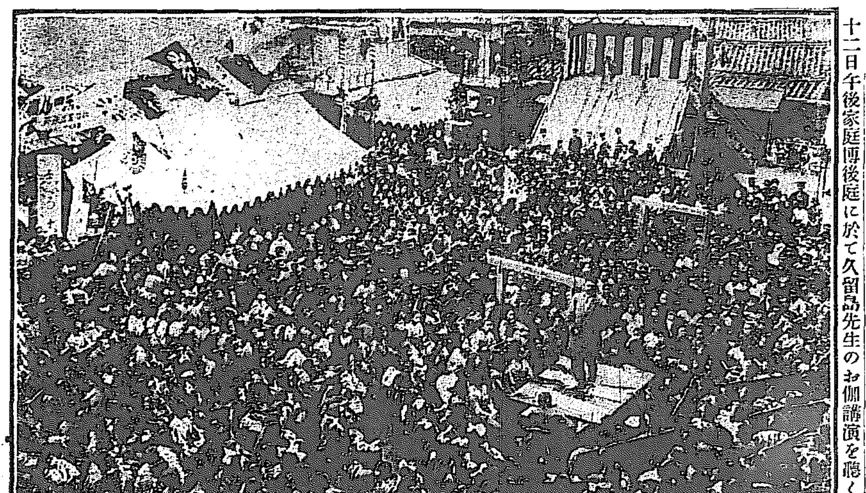
▲大都會と變じて　ゐる、私の頭に唯汚なかつた町と云ふ印象を殘せしに過ぎぬ當時の平壤の町も恐らく今日では非常の進化を見たであらう、隔世の感と云ふ言葉は之等を形容するに適當の辭句である、三菱で經營する製鐵所所在地の兼二浦も私は未だ知らぬから今回視察するのです製鐵所の主要機械は昨年獨逸に注文する筈だつたが例の歐洲大戰亂で不可能となり止むを得ず亞米利加に其の製造を依託する事に決定目下社員を派し彼地で要務に當らして居るが從つて其の

▲機械の到著期も　未定事業の開始期も亦未定多分數年後になるでせう何しろ少なからず投資を要するから弱つてゐますよアハヽヽ、聞く所によると今秋亞米利加より兼二浦に銘鐵媧其他製鐵用大機械の到著を見るやう傳ふる者ありとの事だが其れは單なる風說に過ぎませぬ」と更に鼻眼鏡を光らした背廣姿の武田中將は曰く共進會は男爵の申さるゝ如く豫想外の整頓完美で唯

▲驚くの外はない　僕は大急ぎで一巡した丈けだから批評せよなどと求むるのは到底難きを強ふるものだ僕も男爵と共に兼二浦より南浦視察後平壤に向ひ寺洞鑛業所を一巡の上亦京城に歸る考だ、尚同車中に大日本麥酒會社長馬越恭平老あり男爵との對話毎に愛嬌ある禿頭を左右に動かしつゝ氣持好さゝうに笑ふ黃州より乘り換へし兼二浦支線は出迎への人も加はり車中頗る賑やかなり（兼二浦にて一記者）

●生徒中毒に罹る

大阪天王寺師範學校生徒七十七名中國地方を修學旅行中十一日姬路に於て數名中毒に罹り吐瀉せり原因は海老のフライを食せし爲めならん（大阪特電）



十二日午後家庭博後庭に於て久留島先生のお伽講演を聽く少年諸君

●虐待破廉恥事件豫審終結
愈公判に附せらる

大阪市北區鳴尾町中道甚吉（四五）は內緣の妻迷見よしのと共に昨年九月中旬頃京城に來り永樂町二丁目一番地に大看板を掛け書生迄置きて陰陽術活斷業をなし居れる間甚吉は常によしのを虐待するなよしのも同樣し離く屢々離婚を迫りたるも其都度剣ねつけられ一向に聽入られざるよりよしのは甚吉の

惡事を其の筋に密告して離婚の動機を作らんと決心し十二月二十六日午前九時頃自宅に於て夫の惡事惡行の數々を認め居る所を甚吉に發見せられたるより急遽其の紙片を破つて棄てたるが茲に甚吉は是れ必定自分の情事に關する手紙ならんと邪推して詰問しよしのゝ著衣を剝脫して裸體となし二階の押入れに入れて出づることを禁じ同日午後四時

頃迄衣食を與へず監禁し倘同居人中司治明の妾管千年（二二）を自宅に寄寓せしめ屢々情事を挑み掛けたるも千年の應ずる色なく同月十五日頃千年は同人宅を逃走して姿を晦ましたるより甚吉は大に殘念に思ひ居る內同月二十六日千年が壽町の某家に居るを突き止め直ちに同家に至り厭がる千年を散々口說きて自宅に連れ來り自分の妻になれと口說きたれど聽せざりしより茲に決心し午後六時頃二階に連れ上り突然同女を俯向に押倒して怪しかる振舞に及びたり然るに同人は何と考へてか同夜十一時頃書生若林直次郎及び妻妾等に

朝鮮料理を振舞ふべしと沖俱に人力車にて朝鮮料理屋長春舘に至りたるが空室なしとて謝絕されたるより悄々として歩きながら歸宅する途中鍾路通りより水標橋に向ふ路上にて遲れて來れる書生若林に出會したる際何故遲れたりやと言ふや否や同人の乘り居れる人力車を背後より引倒したる爲め其車夫金弘植が負傷し居れる李寬吉所有の車の背部を傷け及び幌骨一本を折りたる紙略の內容は其當時報道し同人は本町署の手より地方法院に送致され豫審取調中の所愈此程罪狀の取調を了へたるより不日同裁判所公判に廻さるべし

●強盜傷害處刑
各十年に處せらる

既報平北博川郡嘉平面生れ高陽郡崇仁面往十里居住人夫林友秀事林丁浩（二三）及び同里居住金順學（二四）の兩名共謀して七月二十九日午前一時頃丁浩は短刀及び麻繩を順學は日本刀を提げ同郡纛島面松亭里宮本定次郎方に闖入し洋燈の灯を消さんとして誤つて洋燈を土間に落したる物音に主人定次郎が目をさまし四邊を眺めたるに二人の曲者佇み居るより直ちに起き上り接近し居る順學に無手の儘組付きたるに賊は定次郎の度胸に恐れを抱き狼狽して同人を振り離して逃走したり然るに一方丁浩は逃げ場を失ひ室內に狼狽し居る所を同家の娘なを（一）に見付けられたれば賊は短刀を振り廻し娘は其の刀を掴みたる爲め右手拇指と外二本の指に深さ骨に達する創傷を負ひたるも尚屈せず挑みたるより賊は兇器を投棄てゝ逃走したり其の後間もなく兩名共逮捕され京城地方法院に於て強盜傷害罪として兩名共各懲役十年の處分となり因みに娘は總督府醫院に約三十日入院して加療したりと

家庭博覽會の福引的大景品
空籤無し―入場者全部に進呈

△一等　四圓　二十本
△二等　三圓　五十本
△三等　二圓　八十本
△四等　一圓　百本

（場內にて即座に景品をお渡し致します）

此外に景品山の如く中には高價なものが數百本もある＝東京、大阪市內各地の大商店大會社からの家庭博お祝ひとして寄贈された數千點數萬點の品物を此際全部入場者へ抽籤で進呈す＝右商店名寄贈品名は近々發表します＝本日より向ふ一週間入場者幾萬ありとも一人も洩れなく籤を抽かせます（團體を除く）＝而も一本も空籤なし

本日より實行。

□今日の演藝舘□

▲御代の榮（中券）花龍、玉龍、高子、若子、律榮、小染、春子、小牡丹、千成、喜代香、雪丸、時勇、兒江、喜代次、政千代、久子
▲つひのよるべ　三郎、小牡丹、政男、若菊
▲地方　喜代、その、若一、二郎、九八、金五郎、いろは、金太、〆太郎、百太郎、雪子、一若、蔭葵子、おきし、ぽんた、雪丸、三太
▲長生寶宴舞　▲六花錄　▲劍哭舞
▲夜間　天勝一座、大魔術、大奇術サロメ劇

家庭博覽會
家庭博後庭　昨夜の賑ひ　若橘圓坊の大當り

十二日の夜から三日間、毎夜正六時半から三時間浪花舘に出演中の落語家三遊亭若橘と橘家圓坊とが家庭博後庭の舞臺に現はれて落語と得意の座敷踊りを演ると云ふので十二日の夜は前夜に增した大賑ひ若橘の落語は面白く觀客のお臍を撚らせた後お得意の手踊富士の裾野を見せて大喝采、圓坊は短かい落語を五ツ六ツ濟まして直ぐ十八番の盆廻はし、道成寺を踊りながら盆を廻はすと云ふ形で、お終ひに大きな夜具を指一本で廻はして大喝采、明晩も二人で家庭博に來て大車輪で饒舌つたり踊たり跳ねたりするさうだ

●岐阜から朝鮮迄

仁川濱在原籍岐阜縣稻葉郡加納町加藤新七（三一）は八月下旬頃馴染女石田みね（二三）と互に手に手を引き岐阜の山奥より朝鮮迄忍び込みたるが釜山大田と遊び廻る內お定りの金子は無くなりしが女は相談の上京城黃金町の飲食店に五十圓の前借にて酌婦に住み込ませ加藤は上海に渡航せんとて仁川に來り徘徊せる處を浮浪罪に問はれ、みねは岐阜市大富町桔梗樓の娼妓晉羽といふものにして男と共に高飛びせしものなれば樓主の渡鮮まで京城の現在住所にて保護することゝなれり

●主人の金を費消す

兵庫縣有馬郡三田町生れ九鬼隆純（三〇）は京城南米倉町藤田某方店員に雇はれ得意廻りに從業中本年七月龍山元町一丁目西秋某方より取立てたるビール代金三十五圓餘を主人に渡さず悉く自分の勝手に費消し尚四月下旬より八月中旬までに數回に亘り家人の眼を盜みてミルク四箱砂糖八俵メリケン三袋を盜取したる爲め懲役三年に處せられたり

●頭部を打つて死す

京城黃金町四十六番地鄭致順（五八）は十一日午前十一時頃舟橋町百四十六番地趙某方裏手溝內に於て變死し居るを發見し屆出に依り本町署より警官警察醫出張檢視したるが同人は平常胃腸を煩ひ身體非常に虛弱にて同日も便所より立出でたる際眩暈を催して卒倒し溝の中に墜落し溝石にて頭部を打ちて腦震盪を起して死亡したること判明し死體は實子鄭仁成へ引渡さる

御待兼の大寫眞は愈々本日より
天覽赤穗誠忠錄に基き增補大改訂を加へたる大正四年度新撮影
實錄忠臣藏　全通し
全十二卷勿驚映寫時間たつた五時間　勅使饗應下命の塲より泉岳寺本堂四十七士名譽の塲迄全七十三幕
午後五時より切符發賣仕候
大正舘

えんげい

▲浪花舘の小南○○○○○　大切りの電氣應用玉兎げ　ありふれた電氣物とは趣きを異にして一寸奇拔な應用したるものにて評判を博し居れり
▲壽座　市川新昇同雁笑一座の新芝居なり
▲黃金舘　十五日より寫眞全部を差し替へたり重なる寫眞左の如し　△カンガル島に航海△滑稽離の子△活劇流るゝ△正劇燈臺守△山長一派の新派劇松風村雨

京日案內

●普通　一回金二十錢（一回毎に二錢五厘增）

●お針　裁縫に女抱へたし通勤にても可也齡廿五歲以上の者至急來談　△京城新町電壹參六壹　△君ノ江　730

●代診生　市內病院其他田舍にても可なり至急履歷書送付の方は京日案內係に問合被下度（姓名在）　729

●貸家　日本建溫突付三室至極閑靜　官吏向　漢陽公園南裏　管理者　舊龍山印刷局先畑中　677

●金融　花園町七一石橋の側　加藤　719

●番外　一回金六十錢

●看護婦及見習看護婦募集　希望者は大至急御來談ありたし　京城旭町三丁目六番地　外科醫院　瀨戶　736

外勤店員　至急入用齡廿歲前後の確實の者　但し保證人を要す　△かまぼこ司　京城本町二丁目（南山町京城券番隣）　松井筒　737

◎御大禮紀念附錄申込讀者に進呈す　神戶又新日報　一ヶ月卅五錢　738

京城龍山　專賣店　電話壹貳六番　町田新聞店

平壤燒栗　みりんみつやき　一合三錢五升以上一升に付一錢引　櫻井町一丁目百三十二番地　福井屋　731

◎土產品は翡翠に限る　朝鮮豆　高麗豆　新羅豆　珍菓　元祖　五五一番　櫻井町一丁目　村井商會　明治町二丁目　取次　電話二三六八番　735

朝鮮特產人蔘ミルク　滋養豐富　見舞品內地土產品には好適　本品は一磅入廿五錢　主所の特約店にあり　製造發賣元　櫻井町　博榮堂　734

開業　商等下宿　客室清潔庭園あり　共進會期中特に大割引仕候　京城長谷川町朝鮮ホテル前　中京舘　金澤　718

●造花各種原料　販賣　卸　京城南大門側漢陽公園上り口　●造花師　青沼忠榮　716

古着古道具類並に拂下品　右御一報次第確實に買受候　黃金町三丁目　電話二四三四　四宮商店　715

萬染物所　京城岡崎町七〇　確に取扱迅速に御屆仕候　憲兵出張所向側　御預品は至極丁寧　清水堂　713

恩給年金類立替　京城武橋町二十三番地　京城日報社北右に入　電話二二八三番　國江商會　708

◎荷造小包箱製造　京城本町二丁目京城競賣所向側　電話二八〇一　長谷川製箱所　732

◎乳母入用　望みの方は是非本人御來談ありたし　京城本町二丁目　電話二二四九番　金銀屋　705

◎鍼灸一般　子宮及び胃腸は特に請合　京城旭町一丁目　白石組橫小路入　吉川市　724

恩給年金類立替　京城永樂町一丁目四十四番地　商品陳列舘前　電話八〇三番　江州屋　709

●かぜぐすりに百種あり　第一カゼピリン　627

賣地及家屋　市內外に有拾五萬餘坪　各筆に分賣す希望者御來談ありたし　電話九三五番　二一〇七番　本町三丁目　森川商店　739

◎古着古道具類一般　右は相當價格を以て誠實に買受候　旭町一ノ卅一　電話一八一二　クヅ谷商店　680

▲りん病ばい毒にて困る御方は御出でなさい詳細は本月三日の京城日報を御一覽あれ　京城南大門外　ドラッグ商會　686

恩給年金類立替　京城若草町一丁目一〇六井出邸內　電話一二六三番　西村商會　712

◎通信教授　講義錄發行何人も直に上達する新案特許の方法論を證據詳細規則進呈　九州福岡中島三　大日本家庭音樂會　バイオリン尺八　508

恩給年金類立替　京城御成町　電話二七七七番　山口屋　710

恩給年金類立替　京城本町三丁目四十番地　電二二六一番　博多屋本店　711

皮膚病花柳病專門　永樂町商品陳列所坂の上　須古醫院　電話二一〇番　566

緊急公告
濟生會員ニシテ寄附金一千圓以上完納シ當府管內ニ居住スル者ハ十月十四日迄ニ便宜ノ方法ニ依リ當府庶務係ニ其ノ住所職業氏名通報アリタシ
大正四年十月十二日　京城府

商業登記公告
朝鮮銀行總裁缺員中政府ノ指名シタル理事水越理庸總裁ノ職務ヲ行フ
株式會社輸業商會ハ大正四年十月十七日本店ヲ京城府南大門通三丁目拾七番地ニ移轉シタリ
同會社取締役松本幸一「守安瀧三」山本俊平ハ各大正四年拾月壹日其ノ住所ヲ京城府南大門通參丁目拾七番地ニ移轉シタリ
商號「乃木玄米餅店」ノ使用者布施作兵衞ハ大正四年十月七日其ノ住所ヲ京城府本町二丁目四十九番地ニ移轉シタリ
右大正四年十月九日登記
京城地方法院

朝鮮貿易株式會社
大正三年十一月二十一日臨時株主總會ノ決議ニ依リ本年九月廿一日付朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ總資本金五十萬圓ヲ金十萬圓ニ一萬株ヲ二千株ニ減少セリ各債權者ハ若シ異議アレバ大正四年十二月十三日迄異議ヲ述フベシ商法第七十八條ニ依リ此ヲ公告ス

株券提供公告
當會社資本減少ノ爲メ株式併合ニ付キ株券提供期間ヲ來ル大正五年一月十三日迄ト相定候間所有者ハ同期日迄ニ當會社へ提供相成度候萬一右期間內ニ提供セラレザル時ハ株主タル權利ヲ失ハル可シ
大正四年十月十二日
京城府旭町二丁目
朝鮮勸農株式會社
專務取締役社長　岡十郎

美術京染
其他印物。紋附。萬染物
ハッピ。印手拭。風呂敷。
釜山大廳町二丁目　鹿末染工場

寫眞
寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御需めに應じ候
京城日報社　寫眞製版部

千生瓢 (10)

須藤南翠作 筒井年峰畫

颶風の前（十）

の瀧川左近將監一益が、長島、桑名の堅城を後にして、自ら馬を陣頭に立てゝ、中川瀬兵衛清秀の先鋒と伍を交へ、更に長岡與一郎忠興の第二陣を突撃して、四角八面、縦横無盡に馬を乗り廻し、大汗になつて叱咤奮闘しつゝある時、當面の敵將たる羽柴筑前守秀吉は、如何なる行動を取りつゝあるか、是を觀、彼を考ふる時は、兩將が智謀の深淺、兩軍の兵勢の優劣、延いては此合戰の勝敗まで、自から明かに知られるではあるまいか。

先鋒の旗色惡しと見て、一益その本陣を提げつゝ、直ちに中川勢を遮追したので、勝に乗つたる清秀が武勇も、一益が馬脇の雄將、倉知仁太夫、室山備中守、水島左一兵衛、海老名十左衛門等の新手に突きかゝられては、施すに所なく、陣形漸く亂れんとした。清秀馬上に躍り上つて御大將こそ御參なれと、槍りうくと打振つて、矢庭に中軍に突いて入り、五六騎ばかり突伏せる。中川が郎黨熊田喜三右衛門、市浦長右衛門、大崎島右衛門の三右衛門、主に過ちあらせじと、こゝを專途と戰ふ猛勢、瀧川勢も當り離ねて、さつと左右にうち開く、此勢ひで突き崩せやと、中川淵之助、同苗小右衛門、同苗杢兵衛盛り反して攻め戰ふ、這、物々しや、引包んで討つて取れと、一益自身指揮して、潮の如く殺到するに、中川勢の足並、今にも崩れんと見えたのであつた。

斯くと見た長岡忠興、二十二歳の若武者ながら、何時まで控へて在るべきとて、懸れくと命を傳へ、馬の頭を立て直す、長岡助右衛門、清水緑殿、三淵半馬允等、二千五百騎わつと喚いて駆ちかゝる。是れに氣を得た中川勢、乍ち勢ひを盛り返して、死ねやくと斬つて入る。

一益自身槍を拈つて、近づく敵を突き落し、突き落し、暫時支へて戰うたが、敵を二方に引き受けた事とて、陣形兎角に整はず、且つ戰ひ、且つ走つて、思はず二丁餘りを退いたのである。

此頽勢を立て直すため、一益が火花を散らして戰ふ時、秀吉は温かき道服に餘寒も知らず、陣中新に建てさせた、二帖臺目の數奇屋に安坐して、蘆屋釜の松風に、心耳を澄しながら、春の早い伊勢路の木瓜を籠にさして、その紅に眼を娯ませてゐる。

本陣の諸將は、孰れも此の席に招かれて、秀吉が點茶の手前に、心から感悦するのである。

相伴の諸將、一盌の薄茶に戰陣の勞を忘れて、躙踞口より六尺豁の身を退いた後、秀吉は獨樂に茶を點じて、心長閑に味つて居る。花洞口の袋貼の襖か開いて、其處に茶道が圓顱を低けた。

『御召しに依つて平野權平殿、待合に控へ居られまする』

『權平參つたか。銅鑼を鳴らせ』

『ハツ』

茶道は花洞口を出て、其處に懸ける銅鑼の前に立ち、撥を執つて打鳴らした。

ボウーンと響く餘音の、長くく消え離う存る時、躙踞口の板戸を密と引いて、平野權平長泰が、肩衣の襟を緊と合せ、小袴堅く穿ちながら、寸鐵も帶びずに入つて來た。

『召させられまいたか』

『おゝ、能う參つた。茶を進ぜう、すつと進みやれ』

秀吉は釜を下して、炭手前に取りかゝつた。

『御發下し置かれませう』

權平は謹んで客座に直つた、軸は虛堂の横物、春の氣分が其辭句に籠つて、温かい感じがする、權平は炭手前の終つた爐を覗きながら、芳しい香に鼻を動かした。

『權平、此國の熊はまだ穴を出居らぬであらうかの』

『御意にござりまする、出馬くと、取沙汰おざりまするが、木芽時の殘雪は、まだ深いげおざりまするで―』

『美濃からは定めて度々の催促ぢやらうが、年取つて日本一の美しい奥方に配ひ參らせては、温かな奥殿を出て、餘寒の山野に馬を出すは大儀であらうぞ、氣の毒な者ぢや』

笑ひながら秀吉は薄茶をたてた。

松茸狩は
◎南鮮第一の金井山と梵魚寺に 秋の景氣を眺めつゝ
溫泉場から至極便利
◎御辨當は何時にても調進仕候
◎釜山鎭より電車にて二十分
東萊 蓬萊館 電話東萊五番

鳴屋特製 みやすい味噌
美味にして經濟なる
製造元 京城岡崎町 京城島屋本店味噌部
京城北米倉町 島屋市内販賣部
電話九〇三番、二三三〇番に御用命あれば早速御届け致します

流經新藥レスノリン
月やく とまり四五ヶ月以内に効果てきめんに現はれ其流經作用の確實なるを他藥に優越す
一瓶壹圓送費三十錢 書三錢切手封入申越進呈 ●藥價一割增 説明
大阪市北區曾根崎上一丁目三六 發行所 常盤藥院 振替大阪二八三七〇番

美容化粧料
ホーカー液
秋のお化粧にホーカー液
花の如く美くしき少女方のお化粧

秋になると風がだんく冷たくなつて來ます。樹の葉が一枚々々黄色く變つて枯れるのは矢張りその風が吹くからです。そして樹ばかりではなく、秋の風は皆さんのお髮にも美しいお顏にも吹きつけて、さんざ肌を荒さうとするのです。厭ぢやありませんか、誰だつてね。それが爲めに顏や手足かザラザラになつて、折角の容貌が醜くなつたりするなんて……。

○それでは何うしたらその心配がなくなるだらう。いつそ家にばかり引込んで居やうか知ら？まさかさうもなりますまい。ですから、自然これには最も効能のある、皮膚の衛生に適した化粧液を使ふより外ありません。處がさういふ良い化粧液は我が國で、たゞ一つホーカー液があるばかりです。

○ホーカー液は、今云つた肌の荒れや日焼け又は白粉の醜等總て皮膚に起る害を防ぐ様に製へてあるのですから、これさへ始終使つてゐれば今の様な心配は少しもないのです。そればかりころか、ホーカー液は何時の間にか皆さんを見違へる様な美人にする、不思議な化粧液なのです。

○誰だつて『自分は美人になりたくない』と思ふ方は恐らくありますまい。しかし、中には白粉にかゝりが美人にして…て、肝腎の皮膚の衛生といふ事を少しも心掛けない人がある様です。

○しかし、皆さん考へて御覧なさい。白粉はたゞその場限りに人の目を胡麻化すんぢやありませんか。白粉を落させば何うです。色の黒い人は矢張り黒い。肌の荒れた人は矢張り醜い。處がこのホーカー液を常に用ひてゐますと、その度に色が白く肌が美しく、そしてキメが細かくなつて來るのですから、ほんとうに樂しみがあるといふものです。

○皆さん方は大抵已にホーカー液を使つてゐらつしやるだらうと思ひます。しかし中にはまだ一度も使つた事のない方があるかも分りませんから、ホーカー液の用ひ方を少しお話しいたしませう。でこのホーカー液をお用ひになる場合は、女の方ですと二つありまして一つは素顏に用ひます時で、も一つは白粉を塗る時に使ふのです。

○素顏の時は朝洗面をお使になつた後と、夕方湯をお召しになつた後で、二三滴のホーカー液を掌に落して、顏から襟といふ風に輕く手で摩すりつけるのです。それから白粉をお塗けになる時でしたら、これを白粉下にしますと少しも斑が出來ないで上手なお化粧が出來るのであります。

花の顏、雪の肌とは實に ホーカー液愛用の賜なり

本舗 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店

家屋敷及田畑山林の所有者は是非とも一本を購へ
朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著
朝鮮不動産商業登記詳説
●●附錄 朝鮮不動産登記令、登記法、同施行規則
●殘本少し……賣切近し……速に御申込あれ
紙數三百六十頁 定價金八十五錢 郵稅金六錢
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

米國ビクタートラップ會社製
獸類捕獲器 壹個五十錢
狐、狸、ヌクテ取器械
青木賣花販賣所 仁川宮町 京日仁川代理部

新刊書籍案内
◎朝鮮風俗集 今村鞆 一、八〇
◎朝鮮より 宮原稲門 五五
◎學校體操の原理及教育法 向井虎 五五
◎伊勢神宮參拜案内 二、〇〇
◎英傑と修養 加藤咄堂 九〇
◎古今辭世集 一、七〇
◎印度支那講話 武部 一、二〇
◎男女之貞操問題 涌野 六五
◎野翁詩集 平井晩村 三五
◎野人 七〇
◎セヴァストポリ 八〇
◎觀 芳 一、二〇
◎靜 一、二〇
◎戰に徒し 一、六〇
◎銀 一、三〇
◎家に入る 一、七〇
◎悲しい血に冷い 一、七〇
◎世界の驚異 一、三〇
◎解説刀劍學 一、三〇
◎採鑛學（下巻） 二、三〇
◎日支交渉に依る帝國の利權 一、五〇
◎南京去留誌 一、五〇
京城本町 大阪屋號書店 電話二〇八番 振替京城二五七二

模範 純粹 牛乳 培養 ヨーグルト
太正塚肥醫獸主場
京城蓬莱町四 東亞牧場 (電話五二番)

尼崎汽船仁川出帆
○群山木浦釜山下關神戸大阪行
秀吉丸 十月二十日後四時出帆
君が代丸 十月十一日後四時出帆
神代丸 十月十六日後四時出帆
大行丸 十月十八日後五時出帆
第二大淵丸
○群山大阪行
土海丸 日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十月廿六日後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 十月十四日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十月十九日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 十月廿八日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三栄平丸 十月廿二日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三栄平丸 十月十三日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二九日四日十一日廿六日 午後十時出帆
釜山本町 大池回漕部

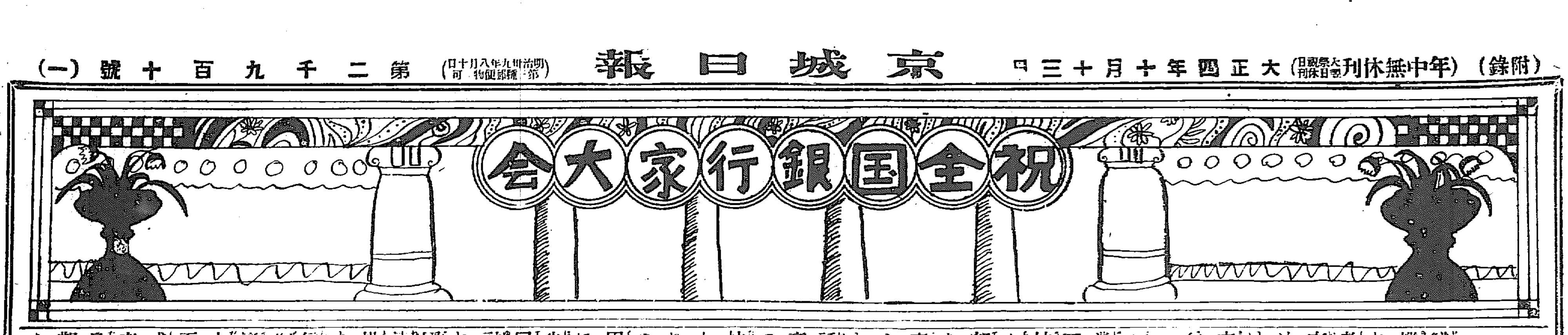
阿波共同汽船仁川出帆
第二共同丸 十月十三日後七時入津 十月十五日前九時出港 芝罘、大連行
大連にて青島行定期船に接續 ...
第一阪鶴丸 城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 月 日後九時出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 十月十六日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町二丁目 電話一〇八番
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
宮島丸 十月十九日 午後五時出帆
漢城丸 十月廿二日
溫州丸 十月十五日
○木浦、釜山、長崎行 安東丸 十月廿四日 午後二時出帆
天智丸 十月十八日
○鎭南浦、大連行 安東丸 十月二十日 午後二時出帆
天智丸 十月十三日
○鎭南浦、關門、神戸、大阪行 月 日 正午五時出帆
○群山、釜山、横濱行 千珠丸 十一月一日 午後四時出帆
チヨイサン丸 十月廿一日
○大連直行 千珠丸 十月廿七日 正午出帆
チヨイサン丸 十月十六日
○元山、清津、浦潮行（釜山出帆） 久丸 十月十九日 午後九時出帆
宮丸 十月廿九日
城津丸 十月十四日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 基隆丸 十月廿九日 午後四時出帆
高雄丸 十一月六日
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡 ...
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

日本郵船仁川出帆
○大連太沽牛莊行
砂河丸 十月廿一日 正午出帆
相模丸 十一月八日 正午出帆
三河丸 十一月三十日 正午出帆
仁川海岸通一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二三三番
京城南大門 京城荷客取次店 松原運送店（電話長二一七）
全羅丸 十月十五日 釜山發
京畿丸 十月廿五日
黃海丸 十月廿九日
咸鏡丸 十月十九日
昌平丸 十月十六日 元山發
鏡城丸 十月廿四日 元山發
竹清丸 十月十四日 元山發
忠清丸
永興丸 毎月廿八回 元山發
京畿丸 十月十六日 釜山發
江陵丸 毎日（釜山 浦項）發
三浦丸 十月十四日 釜山發
濟州丸 毎 釜山發
巨濟丸
慶尚丸 三日目毎 木浦發
順天丸
慶興丸 十月 日 木浦發
公州丸 十月十三日 木浦發
宗信丸 十月十三日 仁川發
江原丸 十月十六日 仁川發
麗水丸 十月十九日 仁川發
普州丸 十月十四日 仁川發
全南丸 毎日午前 仁川發
安丸 十月十六日 群山發 十月十三日 若松發

(附錄)年中無休刊(日曜祭日休刊)　大正四年十月十三日　京城日報　(明治卅九年八月十日第三種郵便物認可)　第二千九百十號(一)



金融大會

朝鮮金融業者大會は朝鮮物產共進會の開催を好機として京城に擧行せられ、朝鮮に於ける金融業者は勿論、內地各方面の有力なる銀行代表者を始め、遠くは滿洲臺灣に於ける殖民地銀行當事者も亦來り會す。洵に朝鮮未曾有の盛事たり。

金融機關は經濟活動の中樞神經にして、殖產興業の發達は殆ど之に依て死命を制せらると謂ふを妨げず。殊に其開發を將來に期するもの多き我朝鮮の如き、經濟の發達を金融機關の整備に俟つ事更に切實なりとす。素より資金の移動は水の低きに就くが如く、自から誘因の存するに非ざれば意の如くなる能はず、從つて產業の進步と相依相扶くるの關係に在るべしと雖も、情勢の審かにされざるが爲め、有利有望の事業も資金を得ざるを困むもの無しとせず。幸に今秋の共進會に於て、半島の實情の廣く內外に展示せらるゝに際し、金融大會の開催を見る、之れが結果として必ずや母國に於ける銀行業者との連絡を計り、母國よりの投資を誘致するに於て利する所甚だ大なるべきを信ず。況んや滿蒙開發の前途多望にして、朝鮮經濟の發達は之れと特殊重大の關係あるに於てをや。吾人は此の大會が單に形式に止まらず、眞摯の調査、著實の研究、以て半島の經濟に貢獻せん事を期待す。茲に大會の開催を祝福す。

金融組合大會に就て

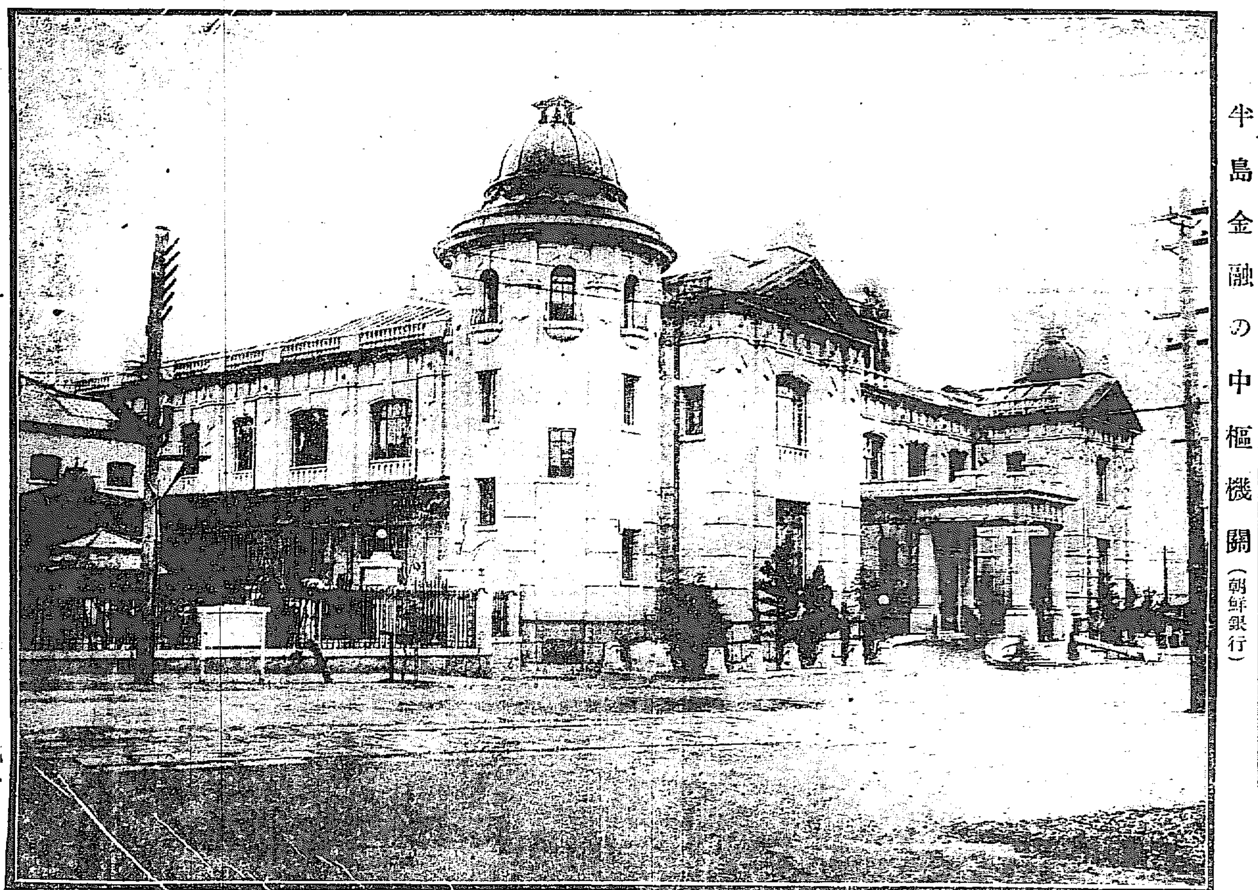
京城銀行集會所委員長　水越理庸氏談

荒井度支部長官

水越集會所委員長

今回の朝鮮金融業者大會は京城銀行集會所の主催に係るものでありまして、鮮內に於ける總ての銀行を會員といたし、內地の特種銀行、銀行集會所所在地の組合銀行、關西で以て資本百萬圓以上を有せる銀行並に滿洲及び臺灣各銀行の代表者を客員として招待する事に依つて成り立つたものであります、其れで會員として出席する者、即ち朝鮮側の出席者は六十二名、客員として參列さるゝ者即ち母國、滿洲、臺灣よりの參列者は四十五名といふ事になつてゐます客員と致しましては松方十五銀行頭取をはじめ斯の如く多數の名士が遠路にも拘らず態々參列さるゝといふ事は集會所員一同の欣塵に堪へざる處でありますが、豫て參列に極つてゐられた志村勸業銀行總裁、水町日銀副總裁、早川三井銀行專務取締、及び第一銀行の日下義雄氏等諸君が、會期切迫してから遽かに故障の爲め出席されぬ事となつたのは洵に遺憾に存じます

朝鮮では之れ迄一銀行の支店長會議又は農工銀行會議等は時々開かれてゐましたが朝鮮全道を通じた金融業者の會同を見るは今回を以て嚆矢と致します、其れで本大會の目的と致しましては金融業者双互の親睦を計り、意見を交換するに在るのでありますが、近來朝鮮は母國との經濟關係が益密接となり又他の殖民地との關係も漸次親密の度を加へ來りましたが爲に金融の變動は最早朝鮮而已に孤立せず、總て互に關聯し和影響する情勢を呈してゐますから、吾々は此機會に於て母國との連絡は素より、他の殖民地との疏通に就いて充分なる研究を試み朝鮮金融界將來の發達を謀り度いと存じてゐる次第であります、尚ほ御來會の諸名士に對しては此際講演を願つて各地の狀況並に朝鮮に關する御意見を拜聽致し度い希望を抱いてゐると同時に、遠來の客員諸君は此機に於て朝鮮の經濟狀態を視察せられ、內地をはじめ夫れ〴〵朝鮮の事情を御紹介くだされむことを希望致して居ります、幸にして吾〻の希望の如く此大會が進行致しましたならば本大會の目的たる相互の親睦を計るに遺憾なきは勿論將來金融の發達に裨益する處は決して鮮少でないことゝ存じます本大會の開催に就いては故市原總裁が主として盡力されてゐたのでありましたが、其計畫者が中途に於て意外の不幸に遇ひ、大會の主たる大役者を奪ひ去られました事は惜みても餘りある次第で、遠方よりの御來會者中にも失望された方は尠からぬことゝ存じます、然し開會當日には寺內總督閣下が親しく御臨場くださつて祝辭を戴くことを得、また荒井長官は本大會の爲めに態々東上を延期されて御出席の上、演說を拜聽することが出來るといふ事は本大會に取りて非常な光彩を添へる次第でありまして一同の欣幸に堪へざる處であると共に吾々は非常な心強さを感じる譯で御坐います


半島金融の中樞機關(朝鮮銀行)

朝鮮に於ける金融機關の沿革

朝鮮に於ける金融機關の發達は之を三期に區分するを得べし、即ち

▲第一期　第一期は明治三十七年に著手せられたる當時の韓國政府財政整理以前に於ては日韓兩國政府は進んで金融機關に對し施設することなく一に之を民間の經營に委ねたる時代にして此期間に於ては一方に第一、十八、五十八(今の百三十)の內地側支店銀行あり專ら開港場若くは京城平壤の如き大都會に店舖を置き業務を經營したる外他方朝鮮側に在りては僅かに朝鮮銀行(今の朝鮮銀行に非ず間もなく閉店せり)漢城銀行及び大韓天一銀行の三行が京城に存在せしに過ぎず、

▲第一銀行の初めて朝鮮に開店したるは明治十一年の昔にして朝鮮に於ける銀行の嚆矢となす、其後同行は元山、仁川、京城に店舖を開設し、次で木浦、鎭南浦、群山諸港の開港と共に是等の地に出張所を開き日淸日露の兩役に際し貢獻せる所多し

是より先同行は明治三十四年以來朝鮮に於て銀行券を發行して漸次取引界に信用を博し財政整理の著手に當り明治三十八年同行の銀行券は日韓兩國政府より韓國に於ける法貨として認められ又韓國貨幣整理事務の助成及日韓兩國國庫金の取扱を爲すに至り京城に總支店を置き大邱、城津、開城、咸興及び鏡城に支店又は出張所を增設し益々業務の發展を圖りしが明治四十二年韓國銀行(今の朝鮮銀行)設立せらるゝに及び銀行券の發行並に國庫事務及び貨幣整理事務其他京城釜山の二支店を除く各店の普通業務をも擧げて之を韓國銀行に引繼ぎたり

十八銀行及び百三十銀行も亦朝鮮に對しては古き關係を有し前者は明治二十三年初めて仁川に支店を設け、次で元山、京城、釜山、木浦、群山及び龍山にも之れを增設し、後者は初め五十八銀行と稱し明治二十五年初めて仁川に支店を設置し後釜山、京城、鎭南浦、平壤にも支店又は出張所を增設せり而して五十八銀行は明治四十二年四月百三十銀行と合併して以來朝鮮の各店も亦百三十銀行の支店又は出張所として活動しつゝあり

▲第二期　明治三十七年著

韓國政府財政整理の著手と共に朝鮮に於ける金融機關の發達は第二期に入れり、此財政整理は政治上各般の事項に亘りて行はれたりしが就中金融に最も密接の關係を有したるは幣制の改革と幣制の整理なりき、前者によりて外國制度の自然に撤廢せられたると後者に依りて惡貨の撲滅並に舊白銅貨及び葉錢の引揚斷行せられしとにより勢ひ地方金融の梗塞を來すべきを慮り當時の財政顧問は各地に金融機關を設立して之が變に備へたり

而して當時に於ける韓國の貨幣制度を見るに法律上金貨本位制を採用したりしと雖も事實に反し毫も本位貨幣なるもの無く、補助貨に至りても地方により其種類を異にして雜然混淆濫發又濫發の結果貨幣の信用地に墮ち物價は騰貴し取引は困難となり三十八年には京城鮮商人間に恐慌を惹起せり、此の如き事情の下に財政顧問が施設したる第一の機關は手形組合と政府倉庫の二なりしが後に完全なる手形の一般に流通するに至るや明治四十五年七月朝鮮總督府方針の下に手形組合は解散し、又政府倉庫は三十八年に創設せられ三十九年以降各地に農工銀行の設立せらるゝに從ひ其の業務を閉鎖して之を所在農工銀行に引繼ぎ韓國政府は其所有倉庫を各地の農工銀行に貸下ぐる事としたり、斯くして財政顧問の施設に基づく朝鮮の金融機關中現存するものは農工銀行と地方金融組合の二となれり、

農工銀行は明治三十九年以來の設立に係り、政府は之に對して或は株式の一部の引受け又は資金の貸下を爲し或は農工債券の元利支拂を保證して業務の發展を助長し漸次良好の成績を擧げ來りしが、時勢の進運に伴ひ其業務の範圍を整理するの必要を認め大正三年五月勅令を以て新に農工銀行令を發布し當分の間普通銀行業務の兼營を認むるも漸次之を廢止するの方針を採り專ら農工資金の普及に努めつゝあり併合の年即ち明治四十三年末に於ては本店の數六箇所(漢湖、平安、慶尙、全州、光州、咸興)支店の數廿七箇所なりしが大正三年末には本店の數に大異動なきも支店は十箇所を增加して三十七箇所となれり今其の經營の概況を見るに明治四十三年末に於ける總運轉資金は七百九十五萬圓なりしが大正三年末に於ては一千三百七十萬圓となり差引五百七十五萬圓の增加を示し又其の總預金は同年間に於て三百二十萬圓より四百七十一萬圓に總貸出金は六百三十四萬圓より一千百五十五萬圓に何れも增加せり同行創立當時にありては農工資金の貸出は微々として振はざりしも併合後地方產業の開發に伴ひ同資金の貸出は著しく膨脹を來し業務の狀況爲めに其の面目を一新し地方金融の疏通に貢獻する所甚大なりとす

地方金融組合は舊韓國勅令地方金融組合規則に依り、明治四十年以來漸次設立したるものにして、併合の年即ち明治四十三年度末に於ては其數百十七箇所を算し、爾來年々增設を促し、明治四十四年度及び大正元年度に於ては各三十六箇所、同二年度に於ては十九箇所、同三年度に於て二十二箇所を新設し、大正四年三月末に於ては其の數合計二百三十の多きを算し組合員數六萬餘人に達し其の貸出金の總額は二百十四萬圓を超え積立金及び繰越金總額約五十萬圓を算するの盛況を呈し其の成績頗る良好にして地方小農民の金融を緩和し產業の開發に裨益する所尠からず

前記京城の恐慌に關聯して漢城共同倉庫會社設立せられ又大韓天一銀行及び漢城銀行の整理を見、共同倉庫は大韓天一と合併して**朝鮮商業銀行**となり資本金は五十七萬五千圓に增加し又**漢城銀行**は明治四十年に至り整理の結果資本を增加し四十四年一躍三百萬圓となせり而して此期間に於て密陽銀行は四十年に、周防銀行は四十一年に設立せられたり、而して茲に一言すべきは**東洋拓殖會社金融部**の事なり、東拓本來の性質が所謂殖民會社なるは人の知る所なるが、朝鮮に於ける不動產信用の機關を完備する爲め中樞的農業銀行を設立すべしとの議一般に行れたりし際に東拓會社設立を見たりしを以て政府は此會社內に金融部を設けしめ右の缺陷を補ふ事とせり、而して金融部に於て使用し得べき資金の額は當初拂込資本金及び社債額の四分の一と定められたりしが其後二分の一に擴張せられたり

▲第三期　明治四十二年に韓國銀行(今の朝鮮銀行)の設立せられし事は朝鮮の金融史上一新紀元を劃せるものと謂はざる可らず、即ち此時以降を以て第三期となす、本期以來の金融機關の活動は朝鮮銀行を中心として記すべき事頗る多きも本紙『朝鮮開發五年』の財政及び金融の部に記述せる所と重複するを以て之を省く

▲機關の任務　朝鮮に於ける金融機關の任務は之を二大別し對內的及び對外的と爲すべし、前者は朝鮮產業の開發に任じ後者は朝鮮對母國又は外國間の貿易の決濟に任ずるものとす

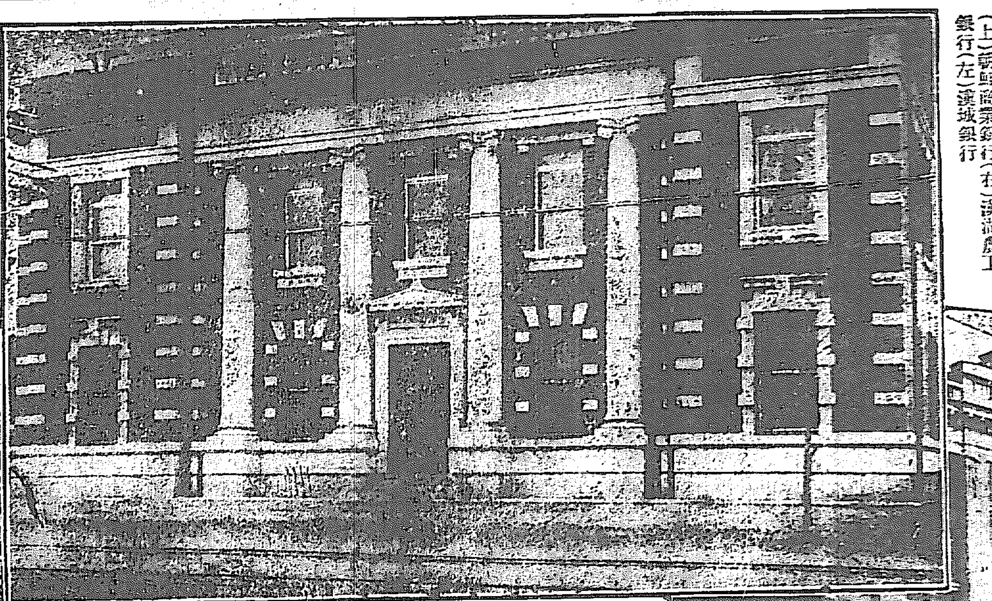
對內的任務の機關は之を商業金融機關と農業金融機關とすべく、商業機關としては內地側本支店銀行及び朝鮮銀行あり農業機關には東拓金融部あり農工銀行あり地方金融組合あり皆政府の施設に基づく、而して**對外金融**機關としては朝鮮銀行ありて朝鮮の貿易を決濟し其發達を助成するの任務を帶ぶ

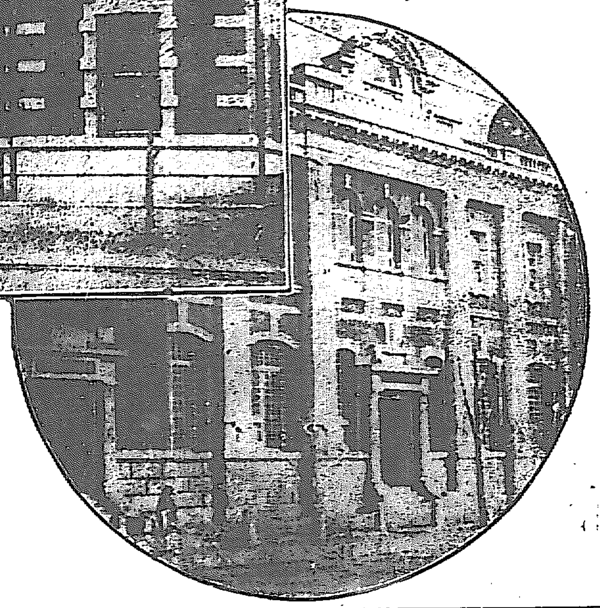
之を要するに朝鮮に於ける金融機關中には母國に本店を有するものと朝鮮に本店を有するものとあり又政府の施設に基くものと否らざるものとあり、之を沿革的に見れば母國に本店を有するもの最も古く、又朝鮮に本店を有するものにも政府施設に基くものと否らざるものとあり、政府の施設に基くものにありても第二期に入りて成立したるものは主に財政顧問の施設に變じ第三期に成立したる韓國銀行は帝國政府直接の計畫に係るものとす。

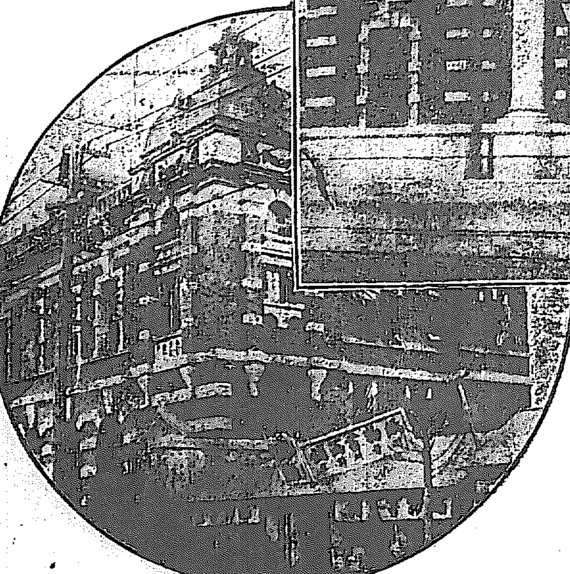
所謂殖民銀行

英佛二國に於ける制度

▲英國の制度　今日列國の殖民政策を通じ其の根本に於て二個の潮流あり、一は同化主義にして一は放任主義（或は適應主義）とす、前者は佛國之を代表し、後者は英國之を代表す、其是非は姑く問はず、英國の殖民政策に於ける此の特質は又殖民地に於ける金融機關の制度の上に之を見るを得べし、元來英國に於て殖民銀行と稱するは殖民地に設立せられ主として殖民地に活動する銀行を意味するも、右の外別に外國銀行なる名稱あり香港上海銀行の如き即其一なりとす茲に外國銀行又は殖民銀行とは内國銀行に對する名稱にして内國銀行は專ら英本國内に於てのみ銀行業務を營むに反し外國及び殖民銀行は其本店を倫敦に置くと否とを問はず殖民地及諸外國にて銀行業に從事する者を總稱す而して英國海外銀行は殖民地又は外國に於て業務を營むものなるも之を設立地より見れば英本國に於て設立せられ本店を英本國内に置けるものあり又殖民地に於て設立せられ本店を殖民地内に置けるものあり、從て其の設立に際し準據すべき法制に至りても前者は英本國法により後者は殖民地法に依るを原則とすべきは言を俟たざる所なれども、英國の殖民地中には自治殖民地あり王領殖民地あり保護國ありて各特有の制度を有し以て殖民地に於ける經濟の發達及び文化の進歩に適應せしむるを期せり從て其銀行制度の如きも本國と殖民地と若くは各殖民地間に於て劃一の制度なきは勿論一殖民地若くは一地方に於て毫も或種の獨古的特權を附與する事なく全く自由放任の方針を採るを以て理想となすを見るべし是れ正に英國殖民政策の特質と一致する所にして亦佛國の殖民銀行制度と大に相異なれる所以なりとす、例へば銀行券發行制度に就て見るも佛國は一箇の發行銀行に對し一殖民地若くは數殖民地に於ける獨占權を與ふるを常とす、即ちアルジエリー銀行のアルジエリー及びチユニスに於ける其他六箇の殖民銀行の夫々一定の地域内に於て發行權を有し互に相犯す事なからしむるが如し、之に反し英國は同一殖民地に於ても一切特立の發行銀行を認めず數箇の銀行相並んで銀行券を發行するを得しめたり香港に於ては香港上海銀行、チヤータード銀行及び印度マーカンタイルバンクの三銀行各銀行券を發行するが如き其好適例とす







京城に本店を有する金融機關
（上）朝鮮商業銀行（右）漢湖農工銀行（左）漢城銀行

▲佛國の體型　斯くの如く殖民銀行の觀念に就ては未だ揆を一にする所なく從來英獨二國に於ける一切の銀行を總稱するも、佛國に於ける殖民銀行は一八五一年の殖民銀行法に則りて設立せられ且つ此の法律に基づき當該殖民地に於て法定通用力を有する銀行券を發行するの特權を有する銀行のみを指稱し自ら其間に徑庭を存す、而して殖民銀行に關する意義が變遷を來したるが爲め佛國に於ては新舊二種の體型を有する殖民銀行制度を生せり、即ち第一類型は政府によりて設立せられたる官僚的銀行にして第二類型は大銀行の合同經營に係る娘銀行とす、殊に印度支那銀行の成立の如き佛國に於て最も有力なる大銀行の總てを網羅す、而して佛國の舊型即ち第一類型たる『最初の五殖民銀行』は皆發行銀行にして其設立古きに拘らず業務の發達遲々たるものあり、之蓋し其の地域の關係に依ること勿論なりと雖も銀行が皆孤立的にして資金の薄弱なる缺點を救治する目的を以て新型の印度支那銀行は本國に於ける大銀行の共同の下に其の娘銀行として設立せられたるものにして、同行が其の業務の複雜なるにも拘らず能く今日の盛況を來せるは此の設立の關係に基づき本國の銀行の多大の援助に負ふこと大なるに因る、是に因て是を見れば海外銀行と本國の金融機關との聯絡は實に緊要なる根本問題にして其接排の如何は海外銀行の隆替に關する所極めて大なるを見るべし

▲我國は如何　我國に於ける海外銀行制度は其規模に於て大小の差ありと雖も其成立組織及び政府の監督關係に於て幾分か佛國に於ける第一類型に類似する所あるが如し、但だ其の本國に於ける金融機關との點に於ては臺灣銀行及び朝鮮銀行は第一類型の如く本國の金融機關より孤立せるの觀を有するに拘らず横濱正金銀行は第二類型に類し本國の金融機關と特殊の關係を有せり、唯だ佛國の第二類型は本國有數の大銀行團と密接の連絡を有するも正金銀行は中央銀行と直接連絡を有するの差異あるのみ

以上は朝鮮銀行の調査に基づける資料中より英佛二國の殖民銀行制度を對比したるものとす茲に附記す

祝共進會開催
來たれ探勝客弓裔の故趾へ！
家屋新築　丁寧親切　眺望佳絶
旅館大和館
京元線鐵原邑内

祝共進會開催
和洋雜貨並精酒、食料品キリンビール
鐵原驛前
㊇小宮山商店

祝共進會開催
鐵原驛前
㋢鐵原組運送店
齋藤庄榮

祝共進會開催
鎭南浦三和町郵便局前
旅館專業
原金旅館
電話二二八番

祝共進會開催
鎭南浦
傘岡部吳服店
電話一〇四番
振替京城五六〇番

貴金屬製作時計商
仁川本町
糸岐商店
電話三七〇番　振替七一番

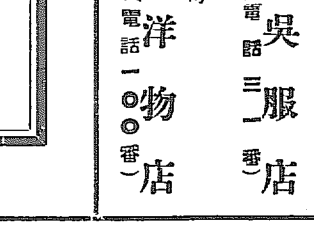
安奉沿線五龍背驛を距る二丁
閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
滿洲五龍背溫泉
風光絶佳にして一大樂園地なり
諸病に特効あり理想的療養場なり
宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

祝共進會開催
吳服太物
鎭南浦三和町
濱田吳服店
（電話三八番）
吳服太物
鎭南浦三和町
谷川吳服店
（電話三一番）
歐米雜貨　洋酒洋貨　食料品
鎭南浦三和町
延田洋物店
（電話一〇〇番）

祝共進會開催
鎭南浦三和町
合資會社　中村組
電話一〇七番

鎭南浦三和町
中村組商業部
電話一一六番

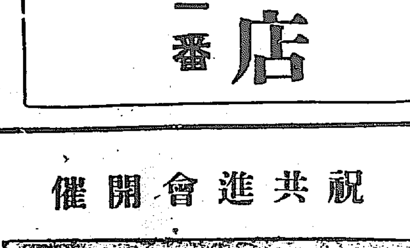
平壤壽町
中村組支店
電話五〇一番

祝共進會開催

青島深山町　吾妻旅館
大連美濃町五號地
吾妻旅館本店
電話六四六番
青島深山町深山公園町
吾妻旅館支店
電話二五〇番

祝共進會開催
祝家庭博開催
會席御料理
平壤櫻町
壽
長電話二四一番

祝共進會開催
祝家庭博開催
會席御料理
平壤櫻町
七星館
長電話一五一番

祝共進會開催
祝家庭博開催
藥種貿易　衞生材料　醫療器械　寫眞材料
平壤本町
平壤藥品販賣所
長電話六一番

祝共進會開催

東萊溫泉場
蓬萊館
電話東萊五番

滿洲と鮮銀券

朝鮮と滿洲とは一衣帶水の隔きにあるが故に國境を接せるに拘らず、其近接地方に在りては經濟關係甚だ密接にして從來朝鮮銀行安東縣出張所は專ら之れが金融調節の任に當りしと雖も、同行は銀行券は未だ奥地に於ては遍く流通するに至らざるのみならず朝鮮内江岸一帶の地方は反て安東縣の經濟勢力に支配せられ、支那貨盛に流通し居たり、然るに明治四十四年安奉線廣軌鐵道の開通と大正元年鴨綠江架橋の完成とは

▲貨客の出入 頻繁を來し、次いで國境關稅の三分一減及び聯絡運賃の著しき低減等に因り、滿鮮經濟交涉は至密繁多を來し、遂に朝鮮銀行をして滿鮮貿易の發展を計り、併せて江岸に於ける貨幣の整理に資せんが爲め、大正二年七月奉天、大連、長春、の三箇所に出張所を設置せしむるに至れり、爾來同地方に於ける朝鮮銀行券の流通漸く熾となり今や南滿洲一帶に亘りて其流通を見ざる處なし、今朝鮮銀行の滿洲に於ける銀行券の發行額と回收額との差を借りて之れが

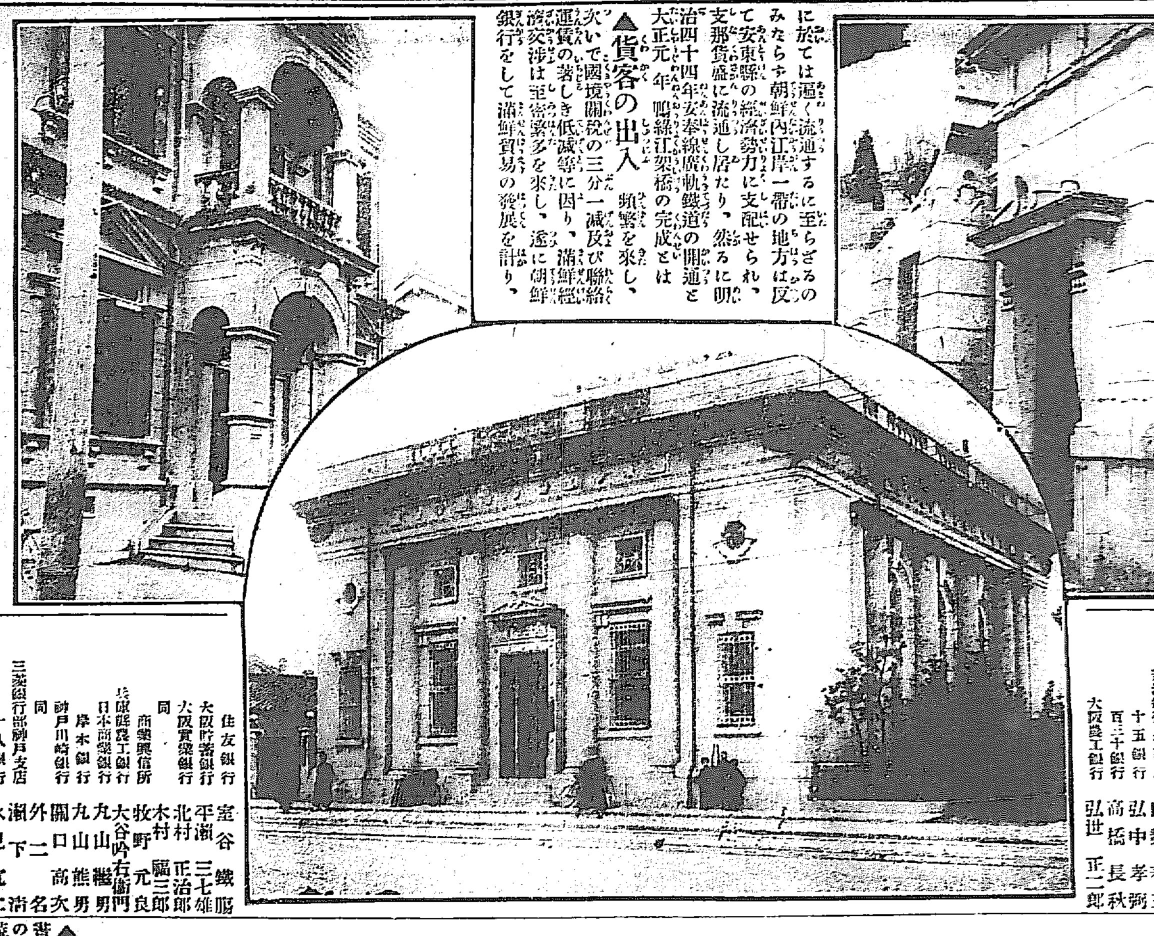
▲流通額推算 すれば如左

大正二年末　四二九、六九〇圓

大正三年末　一、〇五九四、四二圓

因に安東縣は國境に近接し經濟上朝鮮と膠漆啻ならざる關係あり、通貨の出入繁雜を極め銀行券の流通額多大なるに拘らず、一は輸入超過の取引關係と一は旅客持金の兌換とにより朝鮮内に於て發行したる銀行券にして安東縣に於て回收となるもの夥しく、大正二年以降の回收超過額は百萬圓餘に上るが故に同出張所の分は之れを除外したり、斯の如く出張所開設以來日尚ほ淺きに拘らず其成績大に見る可きものあり、更に

▲安東縣附近 に於ける流通額を加算するときは一層巨額に上るものある可く將來滿鮮經濟關係の密接と共に同行銀行券流通增加の大勢を推知し得可し、而して現下滿洲通貨の主要なる種類を擧ぐれば、朝鮮銀行券を除きては日本銀行券、正金銀行券、銀券露國ルーブル紙幣、墨西哥弗及び中華民國各種通貨なりとす、斯く多種多樣の通貨中に在りて朝鮮銀行券流通額の逐年增加を見るは蓋し滿鮮貿易膨脹の反映にして大に喜ぶ可き現象なりとす



京城に於ける内地銀行の支店（左）百三十銀行支店（右）第一銀行支店（下）十八銀行支店

大會出席人名

内地之部

十五銀行 松方嚴
第一銀行 日下義雄
北海道拓殖銀行東京支店 關宗喜
三菱銀行部 乙部融
八十四銀行 中澤彥吉
同 秋田太郎兵衛
同 喜谷市郎右衛門
同 田村藤兵衛
尼崎銀行 佐藤長之助
新潟銀行東京支店 白勢春三
十五銀行 弘中孝彌
百三十銀行 高橋長秋
大阪農工銀行 弘世正二郎
住友銀行 室谷鐵腸
大阪貯蓄銀行 平瀨三七雄
大阪實業銀行 北村正治郎
同 木村脇三郎
商業興信所 牧野元良
長崎農工銀行 大谷吟右衛門
日本商業銀行 丸山繼男
岸本銀行 丸山熊
神戸川崎銀行 關口高次
同 外二名
三菱銀行部神戸支店 瀨下清
十八銀行 永見寬二
明治銀行 大三輪奈良太郎
三十八銀行 野々上喜藏
二十二銀行 大森馬之
廣島銀行 保田八十吉
大正島取銀行 小田政美
同 谷口婦見
伊豫農業銀行 村上半太郎
同 二神精一
同 清水義彰
今治商業銀行 丹下辰雄
同 吉田章太郎
三井銀行門司支店 外山知三
福岡貯蓄銀行 柴田源太郎
小城銀行 德島勇夫

滿洲之部

安東銀行 渡邊喜八郎
安東貯蓄銀行 藤平泰一
大連銀行 長濱敞介

臺灣之部

臺灣商工銀行 曾我純太郎

朝鮮之部

第一銀行釜山支店 河野正次郎
咸鏡農工銀行 山本好造
全州農工銀行 岩崎虎次郎
平安農工銀行 中西喜久男
光州農工銀行 森悟一
慶尙農工銀行 今井武八
平安農工銀行海州支店 野田新吾
慶南銀行 李圭直
同 文尙宇
大邱銀行 尹定夏
密陽銀行 中村孝志
十八銀行釜山支店 下田鑿七郎
仁川支店 森常吉
群山支店 北川元助
元山支店 中島淳二
漢城銀行水原支店 韓相鳳
開城支店 徐光世
平壤支店 淺井佐一郎
大田支店 西村元雄
百三十銀行釜山支店 影山省二
仁川支店 二木萬藏
湖西銀行 成樂憲
同 石鎭衡
釜山商業銀行 萩野彌左衛門
鮮南銀行 伊藤敏生
同 吉村鎭雄
朝鮮商業銀行平壤支店 二宮久一

京城之部

百三十銀行 中村良弼
同 石川秀之助
第一銀行 西村道彥
同 島原鐵三
同 平岡光三郎
漢城銀行 韓相龍
同 李升鉉
同 森升作
同 張弘植
同 韓翼教
十八銀行 足立瀧二郎
同 毛利祐吉
同 井上乙熊
京城銀行 中村再造
同 弓場重榮
同 馬場喜久治
漢湖農工銀行 白完爀
同 遠山熙
同 大田黑宜三
同 三宅富治
朝鮮商業銀行 趙鎭泰
同 豐田明敬
同 神永敏吉
同 池田庄五郎
同 中原晉作
東洋拓殖會社 吉原三郎
同 野田卯太郎
同 林市藏
同 井上孝哉
同 村田俊彥
朝鮮銀行 水越理庸
同 三島太郎
同 木村雄次
同 太田三郎
同 高瀨梅吉
同 山田松熊

新刊と批評（批評希望者は同本の二冊寄送の事）

▲英和大辭典（井上十吉著）本書は著者が七年間取材の廣汎と譯語の的確とを期し專門術語の考究等を鑒し其の完全にベストを盡したる丈け頗る完全なる辭典にて一般人の座右に缺くべからざる書なり（東京日本橋區本石町三至誠堂二圓五十錢）

▲果樹の害蟲（高橋奬著）果樹栽培の實地家及び之が指導者並に初學者の爲に著せるものにて努めて實用的を旨とせり殊に文章口語體なれば何人も讀了するを得べし（東京市日本橋十軒店町八貫落扉一圓廿錢）

▲漢文詳解（淵脇選著）本書は中學漢文科の教程を參酌し專ら文官普通試驗に應せんとする者の學習用として著されたるものなり（東京芝區愛宕町二の一四日本警察新聞社四十錢郵稅六錢）

婦人病者心得

ハガキにて本家へ申込次第無代進呈

事實 は何よりも確かな證據です。命の母で子宮病、血の道が治つて、子實を擧げられた御方は實に澤山で此一例を見ても其藥効が知られませう。詳き事は上記婦人病者心得御一讀になれば成程ソーかと合得ができます

早く試みたまへ

- 白帶下ながれ血に苦しむ人
- 腰冷えて頭痛する人
- 子宮病にて下腹の痛む人
- 逆上にて脊肩のこる人
- ヒステリー血の道の人
- 月經滯り或は不順の人
- つわり又胸先へ差込む人
- 卵巢炎、喇叭管炎の人
- 浮腫痺れ疝氣の人
- 腦神經衰弱の人
- 貧血顏色惡き人
- 頭痛眩暈に苦む人
- 癇高ぶり心悸亢進の人
- 安産肥立ちを望む人

命の母 子宮聖藥 家傳

本家 笹岡省三藥房

東京京橋區新榮町四丁目一番地 電話本局二〇五〇番 振替東京二〇五〇一番

大阪市東區淡路町一丁目 電話本局三三二八〇番 振替大阪三三二五番

三ヶ月分服藥女子出産

三河矢作町 島居源助方島居うめ夫人

健男子を全謝

永井賢太郎夫人

十三年目に愛兒を得

朝鮮全州高砂町一丁目 川島乙松夫人

女子分娩の喜び

大阪市北區本庄浮田町七九二 西﨑てる子夫人

不思議に男子出産

伊方郡和字□□ 紳野鶴三郎夫人

男子分娩い命の母の御陰

山口縣久賀町 山田宗太郎夫人

女のくすりで一番よくきくのは命の母

ソレハ何故……曰く

日本一の藥學博士 下山先生が

命の母は婦人藥として坊間に存在せる諸藥劑に比して卓絶せる効驗あるを余は證明す

第一等の婦人藥と證明せらる

命の母藥價

二日分	廿五錢
七日分	八十錢
二週分	壹圓五拾錢
五週分	三圓

加補命の母

五日分	八十錢
十日分	一圓五十錢
三十日分	三圓
二ヶ月分	五圓

買方

到る處の信用ある大藥房にて頒藥せり。品切の時は本家へ申込次第送る

御注意

命の母には數種の加減藥命の母があるから、本家へ申込時は容體明記あれ

ゴム引黒毛朱子防雨マント 鯨尺裄廻七尺五寸 長三尺

雨具

高等洋服

雨雪不浸透絶對保證 代金引替五十錢 送料前金 十二錢

見本目録郵券四錢

ケープ

同質 肩辷り付参圓五拾錢

●男兒用 襟下長さ鯨二尺 毛朱子肩辷り付 縞スコッチ皮黒ラシャ製三種 頭巾付金参圓廿五錢均一 増尺一寸迄毎に廿五錢増

●女兒用 襟下長鯨二尺 紋朱子肩辷り付 刺繍縁模様入紫色ラシャ製 頭巾不著 金参圓六拾錢 増長一寸迄毎に廿五錢増 頭巾付は定價の一割五歩増

送料代金引換四十錢前金十二錢完全品形状相圖不向返金

●關稅發店負擔特應賓文官制服地多量在店委細見本目録郵券四錢

上村彌勝高等洋服店

大阪市東區谷町二丁目 電話東二八四一番 振替大阪七七五三番

天下の銘釀

御大禮奉祝の祝杯は瑞祥顯なる白鶴に限る

特約店 京城本町 前田一店 京城本町 三好酒店 仁川本町 增本酒店 仁川本町 田中酒店

兵庫縣灘御影町 醸造元 嘉納合名會社

自轉車附屬品一式卸商

◎定價表御同業者に限り御申越次第送呈仕候

大阪市西區清水橋西詰

牛政商會

電話長西四三七三

荒物雜貨團扇

卸問屋

大阪天神橋北詰

西垣重之助

電話東一八九七番 振替大阪二八一九番

專賣特許 八田式精米麥機

大嘗祭愛知縣獻穀田御用精米機

四斗俵精白一時間内外 響絶無振動なし動力牛馬力にて運轉す●發熱なくして精白美麗なる事他に比類なし●酒造家に最も好評あり●据付場所狹小にて使用簡單なり●本機の優良なる事疑なし迷はずして續々御用命を乞ふ

●說明書御入用の御方は郵券封入申込みを乞ふ

專賣特許稻扱機製造發賣す 御入用の方は廣告の爲め原價にて販賣す

製造發賣元 大阪市南區廣田町九〇七番地(電話五五六六番) 八田鐵工所

大阪市南區惠美須町停留所前 八田鐵工所出張所

名古屋市中區南縦宜町二丁目(電話四三四三番) 同 名古屋支店

輪轉新聞用インキ
普通新聞用インキ
燐寸商標用インキ
書籍雜誌用インキ
上等印刷用インキ
紙型用原紙
ローラ用原料

大阪市安堂寺橋東詰(住吉町)

電話南三八三七番 振替大阪三三六四〇番

★(金)

津川金星堂

工場 大阪市北區南恩町壹丁目 電話東二六九七番

刺繍縷染

模様たび

高尚優美 最新流行

營業課目 富貴足袋 ニコく足袋 地下足袋 メリヤス 裝束類 雜貨買次

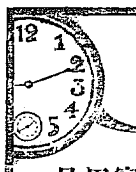
大阪市本町橋東詰

澤田儀平商店

電東三二一八 振阪三八五一

一錢 專賣特許

墨の元(一名開明墨汁)



スラスラにカケて

時間と金の經濟

△東京市立各學校學用品優良撰拔御指定

△其他各府縣大中小學校御賞用品

○小學兒童一人金壹錢以内で壹ケ月上等の墨が充分使用出來ます

墨色美麗實用品

○粗製濫造墨汁種々アリ

○學校ノ御申込ハ見本直ニ送呈ス

○粗悪類似品アリ田口製ニ御注意ヲ乞フ

到る處の文具店、雜貨店等に販賣せり

發賣元 大阪北區東梅田町 田口商會大阪支店

大阪市東區南久太郎町貳丁目八木商店内

染料高に不拘

弊社製品は總て極良なる染料を使用せるを以て絶對に褪色せず。故に類似品の如く「色はげ」を生ずる等の事なく随て愛用家諸君の御愛用を蒙る

地質堅牢 使用耐久 實用好適 價格低廉

登録商標

タオル

弊社製品には一枚毎に二羽鶴商標を押捺せるを以て御求めの節御注意を乞ふ 全國到る所有名なるタオル店呉服店雜貨店にあり 若し御最寄りに無之候はば弊社へ直接御下命の程願上候

浪速紡織株式會社販賣部

電話東長六一五番、六一六番、長六一七番 長一四三三、長三三九〇、三三二一

今大流行の 貴婦人紳士用

エンゼル香油

御婦人大切の毛髪をサラツト艶ある濃き髪に留まる、御方は芳香品質共に最も優れたる大阪三三號のエンゼル香油を御愛用遊ばせ

定價十五錢、廿五錢、卅五錢、四十五錢 到る處の化粧品小間物店に販賣す

エンゼル セージン 化粧品

本舖 大阪市南久寶寺町一丁目 大三三號

梅毒瘡毒諸毒排ひ

掃毒丸

梅毒瘰病胎毒ひ毒其他一切の梅毒性諸症のぼせ頭痛るいれきかんそよこねの類世俗四十八瘡と稱する病に大効あり本劑一名一月丸と稱す以て其効能の如何に確實なるかを知れよ

價十五錢卅錢五十錢一圓一圓五十錢三圓

本舖 東京神田 大阪高麗橋 山崎帝國堂

到る處の信用ある藥店にあり

今回ニ限リ大特典アリ

賣藥 行商人募集

支店主任

大阪東區内平野町 眞砂藥館

くだりはらの氣持よく止まる

登録商標

健胃固腸丸

食傷寝冷時候あたりから起る下痢と腹痛に第一等藥

藥價十錢二十錢五十錢一円三円五円

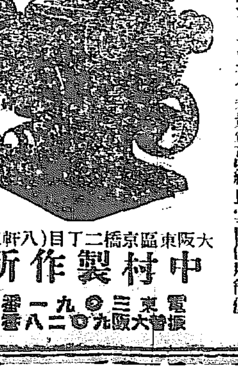
本舖 大阪 谷田春堂

到る處の藥店に販賣せり

中村式製粉機の特長

從來の石臼に比し製産額多量製粉歩合多量製品純良手回使用簡便

於日本產業博覽會 一等賞 金牌を受領す



▲尚此外吸入及石油發動機も製作仕候間御用命願上候詳細は御申越次第說明書送呈致候

大阪東區京橋二丁目(八軒家)

中村製作所

電東三〇一九一番 振替大阪九〇二八番

大禮使典儀官貴族院議員 從四位子爵 清岡長言 渡邊霞亭 共著

寫眞版 兩陛下御尊影 即位式高御座 大嘗祭風俗 御題字萬歲

天覽 御大典紀念

紙數總數百貳頁 定價拾錢

小冊ながら内容の充實せる本書は畏くも天覽台覽の光榮を賜はれり以て本書の價値を知るべし

學校又は公共團体等へ寄贈者には特に大割引すべし至急最寄へ御申込みあれ

奥村五百子

題字 東伏見宮妃殿下御歌 二條公爵 鍋島侯爵夫人 土方伯、伊東元帥、九鬼男爵、朴永孝公等

口繪寫眞版 常宮、周宮、村雲尼公御下賜品、閑院宮妃殿下御下賜御蒔繪奥村刀自肖像等三十八葉を精巧無比のコロタイプ又は寫眞版とし卷頭を飾る

裝釘 安江不空畫伯の意匠に係る流水櫻花の模様を施したる總クロース洋綴にして頗る優美高尚

紙數本文四百四十頁 特價壹圓八拾錢

奥村五百子の組織せる愛國婦人會は全國に亘りて八十余万の會員を有す、五百子は實に我が國婦人に最も適切なる報國の仕事を授けたる先覺者にして又た婦人、活動の道を拓きたる偉人なり荀も婦人ある家庭は一本づゝを備へて婦人、國に報ずるの眞義を會得せざるべからず而して此書は優麗典雅の筆致こ爛眼邃徹の識こを以て我國文壇の明星こ仰がれ歴史小說界の權威こせらるゝ

碧瑠璃園渡邊霞亭翁が苦心の一大傑作なれば以て其妙筆を味ふべきなり本書は

天皇皇后兩陛下乙夜の覽に供すべく既に御獻上中にあり

大阪市内久寶寺町貳ノ壹八 霞亭會

振替大阪二七一五五・電話東一八〇三番

全國書籍店又は新聞店にて販賣す